

bizhub PRESS /

1250/1052

ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編



もくじ

1 はじめに

1.1	ご挨拶	1-2
1.1.1	マニュアル体系について	1-2
1.1.2	ユーザーズガイドについて	1-3
1.2	ページの見かた	1-4
1.2.1	本文中の記号について	1-4
	安全にお使いいただくために	1-4
	手順文について	1-4
	キー記号について	1-5
1.2.2	原稿と用紙の表示について	1-5
	用紙の大きさ	1-5
	用紙の表示	1-5
1.3	本書について	1-6
1.3.1	本書の構成	1-6
1.3.2	本書の表記方法について	1-6
	製品名称の表記方法	1-6
1.3.3	ユーティリティーツールについて	1-7
	HDD TWAIN ドライバー	1-7
	TWAIN ドライバー (GUI 版)	1-7
	TWAIN ドライバー (Non-GUI 版)	1-7

2 スキャナーの概要

2.1	機能概要と接続形態	2-2
2.2	スキャナー機能	2-3
	[読み出し] 画面	2-3
	[スキャン] 画面	2-4
	[保存] 画面	2-5
2.3	製品仕様	2-6
	スキャナー機能仕様	2-6

3 ご使用いただく前に

3.1	操作パネル	3-2
3.2	タッチパネルの操作方法	3-4
	項目の選択	3-4
	情報の入力	3-4
	ページの移動	3-5
3.3	文字を入力するには	3-6
	文字入力画面のキーについて	3-6
	文字入力について	3-6
	文字入力画面 (英記号)	3-7
	文字入力画面 (ローマ字)	3-7
	文字入力画面 (かな漢字)	3-8
	漢字変換画面について	3-8
	文字入力画面 (カタカナ)	3-9
3.4	検索するには	3-10
	宛先の検索 (スキャナーの検索機能)	3-10
	検索	3-10
	No. 検索	3-11
	ダイレクト呼出し	3-12
	LDAP 検索	3-14
3.5	サムネイル	3-17



4 保存 / 読出し機能について

4.1	保存 / 読出し機能のながれ.....	4-2
4.2	個人フォルダーを作成する.....	4-3
4.2.1	個人フォルダーの作成	4-3
4.3	ボックスを作成する	4-7
4.3.1	個人フォルダーにボックスを作成する	4-7
4.3.2	共有フォルダーにボックスを作成する	4-11
4.4	スキャンデータの取込み	4-15
4.4.1	個人フォルダーのボックスに取込む.....	4-15
4.4.2	共有フォルダーのボックスに取込む.....	4-18
4.5	データの出力	4-21
4.5.1	個人フォルダー内のデータを出力する	4-21
4.5.2	共有フォルダー内のデータを出力する	4-25
4.5.3	出力操作のながれ	4-28
4.6	スキャンしたデータを FTP/SMB ヘアップロード.....	4-29
4.7	フォルダー / ボックスの削除.....	4-34
4.7.1	個人フォルダーを削除する	4-34
4.7.2	個人フォルダーのボックスを削除する	4-36
4.7.3	共有フォルダーのボックスを削除する	4-38
4.8	PageScope Web Connection を使用してボックスを作成する	4-40

5 ネットワークスキャナー機能について

5.1	ネットワークスキャナー機能の概要.....	5-2
5.2	メールで送信する	5-3
5.2.1	設定する項目	5-3
	宛先 (E-mail アドレス)	5-3
	表題設定.....	5-3
	本文設定.....	5-3
5.3	ハードディスクに保存する	5-4
5.3.1	設定する項目	5-4
	ボックス No.	5-4
	登録名.....	5-4
	検索文字.....	5-4
	パスワード	5-4
5.4	FTP サーバーに送信する	5-5
5.4.1	設定する項目	5-5
	登録名.....	5-5
	検索文字.....	5-5
	ホストアドレス	5-5
	ファイルパス	5-5
	ログイン名	5-5
	Anonymous	5-5
	パスワード	5-5
	ポート番号	5-5
	Firewall	5-5
5.5	SMB サーバーに送信する	5-7
5.5.1	設定する項目	5-7
	登録名.....	5-7
	検索文字.....	5-7
	ホストアドレス	5-7
	ファイルパス	5-7
	ログイン名	5-7
	パスワード	5-7
5.6	グループに送信する	5-8
5.7	ネットワークスキャナーの操作のながれ	5-9
5.8	Web サービスを使用して送信する (WS スキャン)	5-10
5.8.1	Web サービスを使用するため必要な設定.....	5-10
	インストール前の確認	5-10

6 ネットワークスキャナー機能の宛先登録（宛先追加）

6.1	登録（追加）について	6-2
	宛先入力画面について	6-2
6.2	E-mail アドレスの登録	6-4
6.3	ボックスの作成と登録	6-6
6.4	FTP サーバーの登録	6-8
6.5	SMB サーバーの登録	6-11
6.6	グループの登録	6-14
6.7	宛先の変更 / 削除について	6-17
	登録内容の変更	6-17
	登録内容の削除	6-20

7 ネットワークスキャナー機能の実行

7.1	宛先選択画面のキーについて	7-2
7.2	E-mail アドレスへの送信	7-4
	メールアドレスが登録されている場合	7-4
	メールアドレスを手動入力する場合	7-7
7.3	ハードディスクへの保存	7-9
	ボックス宛先が登録されている場合	7-9
	ボックス宛先が登録されていない場合	7-12
7.4	FTP サーバーへの送信	7-14
	FTP サーバーが登録されている場合	7-14
	FTP サーバーを手動入力する場合	7-16
7.5	SMB サーバーへの送信	7-20
	SMB サーバーが登録されている場合	7-20
	SMB サーバーを手動入力する場合	7-22
	SMB サーバーをブラウズリストから検索する場合	7-26
7.6	グループへの送信	7-31
7.7	Web サービスを使用した送信（WS スキャン）	7-33
7.8	スキャン設定基本画面について	7-35
	原稿設定	7-36
	画質設定	7-37
	倍率設定	7-38
	応用設定	7-39
	応用設定 - 枠 / 折り目消し	7-39
	応用設定 - スタンプ / オーバーレイ	7-40
	ファイル形式	7-40
	片面 / 両面	7-41
	解像度 (dpi)	7-41
	読み込みサイズ	7-41
7.9	コントローラーのスキャン設定について	7-42
7.9.1	ボックス内ドキュメント削除時間	7-43
7.9.2	ファイル名	7-43
7.10	ジョブの確認	7-44
7.10.1	ジョブリスト画面を表示するには	7-44

8 機密フォルダーについて

8.1	ボックスを作成する（機密フォルダー）	8-2
8.2	機密フォルダー内のジョブを出力する	8-6
8.3	機密フォルダーのボックスを削除する	8-9

9 設定メニュー画面

9.1	設定メニュー画面を表示する	9-2
-----	---------------	-----

9.2	スキャン設定	9-3
	スキャン設定画面を表示する	9-3
	デフォルト宛先設定	9-4
	初期設定（読み込み設定）	9-4
	個別機能切替え設定	9-5
9.3	E-mail 設定	9-6
	E-mail 件名登録 / E-mail 本文登録画面を表示する	9-6
	E-mail 件名登録画面	9-8
	E-mail 本文登録画面	9-8

10 トラブルシューティング

10.1	スキャナーに接続できない	10-2
10.2	エラーが表示されたら	10-3
	保存先のボックスが登録されていない	10-3
	コントローラー HDD の残量不足	10-3

11 付録

11.1	スキャナー用語集	11-2
11.2	索引	11-4

1

はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub PRESS 1250/1052 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。

本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[ユーザーズガイド セキュリティー編]	セキュリティー機能について記載しています。 セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。
[オペレーションクイックガイド]	使用頻度の高い機能について、操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをお読みください。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい注意事項とお願いとを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー編]	機械の概要やコピー機能について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> 本体、オプションの概要および仕様 電源の入れ方、切り方 使用する用紙の仕様 基本コピーのとり方および設定方法 補給、廃棄部材の処理 応用設定、出力設定、ジョブリスト トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド POD 管理者編]	日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズしたり、機械を管理したりする方法について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> トレイ設定 表裏調整 コントローラー設定 調整、設定メニュー画面 ネットワーク設定 PageScope Web Connection 設定 Web Utilities 設定
[ユーザーズガイド プリンター編]	プリンタードライバーおよびユーティリティツールの設定について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> PCL ドライバー PS Plug-in ドライバー PS PPD ドライバー PageScope Web Connection 設定
[ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編]	ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> 本体用ハードディスクに保存／出力 メールで送信 コントローラー用ハードディスクに保存 FTP サーバーに送信 SMB サーバーに送信 グループに送信
[商標／ライセンス]	商標およびライセンスについて記載しています。 製品のご使用前に必ずごらんください。

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機をはじめてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書では、さまざまな情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

- このチェック記号は、手順文の前提条件や、手順を実行する前にあらかじめ知っておいたほうが良い情報を示しています。

- このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。
- このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。
→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

- この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。



目的の画面を表示しています。



参照先を表しています。

必要に応じてご覧ください。

キー記号について

[]

タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字

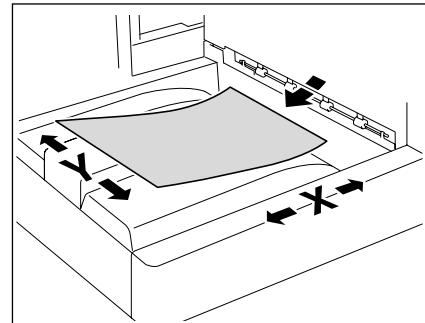
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2 原稿と用紙の表示について

用紙の大きさ

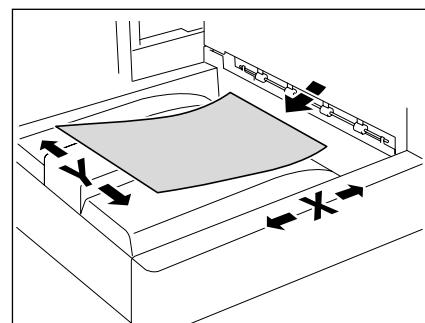
本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

原稿と用紙の大きさを表す場合、Y辺を幅、X辺を長さと呼びます。

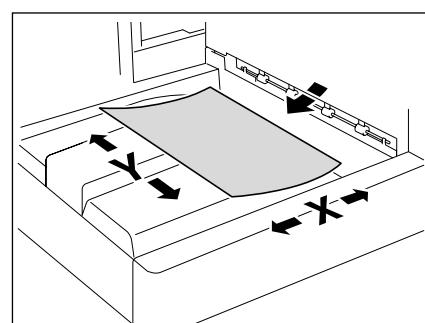


用紙の表示

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを □ と表示します。



1.3 本書について

本書は、bizhub PRESS 1250/1052 のネットワークスキャナー機能に関するユーザーズガイドです。

本書では、タッチパネル上の [読み出し] タブ、[スキャン] タブおよび [保存] タブを押して使用する機能について説明します。

上記のボタン以外の操作方法については、POD 管理者編およびコピー編ユーザーズガイドをごらんください。

1.3.1 本書の構成

本書は、以下の 11 の章から構成されています。

第 1 章 はじめに

本ユーザーズガイドについて説明します。

第 2 章 スキャナーの概要

ネットワークスキャナー機能の概要を説明します。

第 3 章 ご使用いただく前に

操作パネル、タッチパネル、文字入力、検索機能の使用方法を説明します。

第 4 章 保存 / 読出し機能について

保存 / 読出し機能について説明します。

第 5 章 ネットワークスキャナー機能について

ネットワークスキャナー機能の操作のながれについて説明します。

第 6 章 ネットワークスキャナー機能の宛先登録（宛先追加）

ネットワークスキャナー機能の宛先 / 保存先の登録について説明します。

第 7 章 ネットワークスキャナー機能の実行

ネットワークスキャナー機能の具体的な使用方法について説明します。

第 8 章 機密フォルダーについて

機密フォルダーについて説明します。

第 9 章 設定メニュー画面

設定メニュー画面の設定方法について説明します。

第 10 章 トラブルシューティング

ネットワークスキャナー機能に関する主なトラブルの解決方法を説明します。

第 11 章 付録

スキャナー機能に関連する用語集と索引です。

1.3.2 本書の表記方法について

製品名称の表記方法

本書では、各製品を以下のように表記しています。

1 bizhub PRESS 1250/1052 コピー機

コピー機（またはプリントティングシステム）

2 イメージコントローラー

イメージコントローラー

1.3.3 ユーティリティーツールについて

このネットワークスキャナー機能で使用するユーティリティーツールは以下のとおりになります。各ユーティリティーツールの詳しい操作方法については、各ユーティリティーツールのユーザーズガイドをごらんください。

HDD TWAIN ドライバー

コンピューターとコピー機を接続して、コントローラー HDD からジョブをコンピューターへ取込むためのドライバーです。TWAIN スキャナードライバーに対応したアプリケーションを使用します。詳しくは、HDD TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。

TWAIN ドライバー (GUI 版)

コンピューターとコピー機を接続して、ボックスに保存したスキャンデータをコンピューターへ取込むためのドライバーです。TWAIN スキャナードライバーに対応したアプリケーションを使用します。詳しくは、TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。

TWAIN ドライバー (Non-GUI 版)

コンピューターとコピー機を接続して、ボックスに保存したスキャンデータをコンピューターへ取込むためのドライバーです。TWAIN スキャナードライバーに対応したアプリケーションを使用します。詳しくは、TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。

MEMO

- Non-GUI 版をインストールした場合、Acrobat8/9 では、[文書] - [スキャナから PDF を作成] - [スキャナオプション] - [ユーザインターフェイス] で、GUI の有無を選択できます。

2

スキャナーの概要

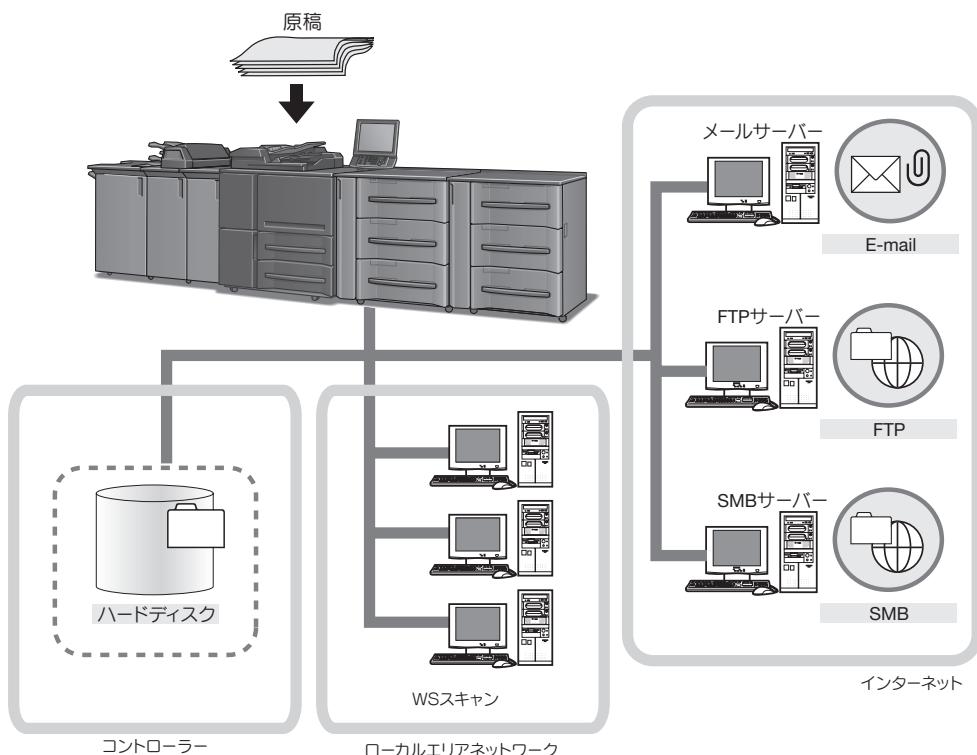
2 スキャナーの概要

2.1 機能概要と接続形態

本機は、ネットワークスキャナーとしての機能を持っています。

ネットワークスキャナー機能を使用するには、イメージコントローラが必要です。

詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



スキャンしたデータを、E-mail の添付ファイルとして送信、FTP サーバーまたは SMB サーバーへアップロード、ハードディスクへ保存できます。また、ネットワークのコンピューター（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）から、Web サービス機能を使用してスキャン指示を行い、コンピューターにスキャンデータを送信できます。

スキャンデータは次のファイル形式で送信されます。

- 一括 PDF/ 分割 PDF/ 暗号化 PDF
- 一括 TIFF/ 分割 TIFF
- 一括 XPS/ 分割 XPS

2.2 スキャナー機能

スキャナー機能は、[読み出し] 画面、[スキャン] 画面、[保存] 画面で操作します。

[読み出し] 画面

ハードディスクに保存したスキャンデータを出力するには、[読み出し] 画面で操作します。



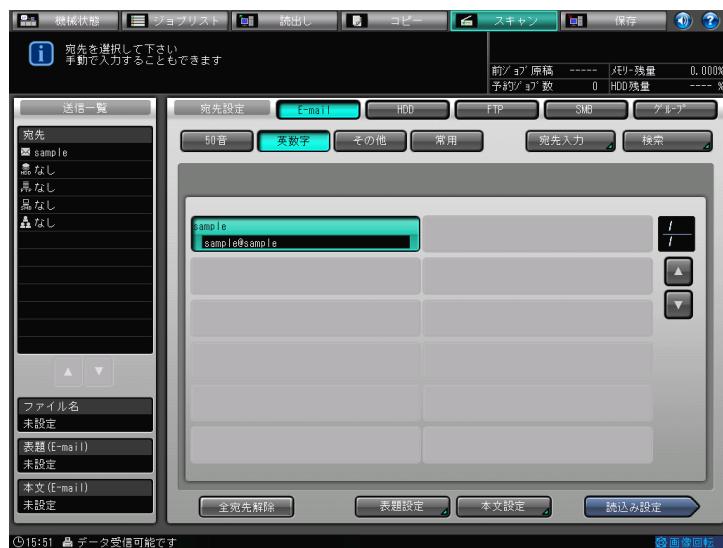
名称	説明
個人フォルダー	ユーザーごとに作成されたフォルダーが表示されます。このフォルダー内には、スキャンデータが保存されているボックスがあります。ボックス内に保存されているファイルを選択して [出力] を押すと、スキャンデータを出力できます。個人フォルダーおよびボックスは、[保存] 画面で作成します。
共有フォルダー	ユーザーが共有するフォルダー内にあるボックスが表示されます。ボックス内に保存されているファイルを選択して [出力] を押すと、スキャンデータを出力できます。共有フォルダー内のボックスは、[保存] 画面で作成します。
機密フォルダー	コンピューターからセキュリティープリント機能を使って送信されたプリントジョブは、機密フォルダー内のボックスに保存されます。ボックス内に保存されているファイルを選択して [出力] を押すと、セキュリティープリントジョブを出力できます。セキュリティープリントジョブを出力するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。



読み出し機能については、「4 保存 / 読出し機能について」をごらんください。

[スキャン] 画面

スキャンデータの宛先を登録および指定するには、[スキャン] 画面で操作します。



機能	参照ページ
メールで送信する	5-3 ページ
ハードディスクに保存する	5-4 ページ
FTP サーバーに送信する	5-5 ページ
SMB サーバーに送信する	5-7 ページ

⚠ 注意

- 本機をネットワークスキャナーとして使用するには、ネットワークに接続する必要があります。ネットワークの設定の詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- スキャンしたデータが破損することがあります。オリジナルのバックアップを必ず保存しておいてください。

[保存] 画面

スキャンデータをハードディスクに保存するには、また、スキャンデータを保存するためのフォルダーおよびボックスを作成するには、[保存] 画面で操作します。



名称	説明
スキャン to HDD	スキャンしたデータをハードディスク内のボックスへ保存します。また、スキャンしたデータを保存するためのフォルダーやボックスを作成します。スキャンしたデータを出力するには、[読み出し] 画面で操作します。
HDD to FTP/SMB	ボックス内に保存されているスキャンデータを、FTP サーバーまたは SMB サーバーに送信します。FTP サーバーまたは SMB サーバーの宛先を登録しておくには、[スキャン] 画面で操作します。

参照

保存機能については、「4 保存 / 読出し機能について」をごらんください。

注意

- 本機をネットワークスキャナーとして使用するには、ネットワークに接続する必要があります。ネットワークの設定の詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- スキャンしたデータが破損することがあります。オリジナルのバックアップを必ず保存しておいてください。

2.3 製品仕様

コピー機、イメージコントローラー、ネットワークの製品仕様については、各ユーザーズガイドを参照、または、各管理者にお問い合わせください。

スキャナー機能仕様

項目	諸元
原稿種類	シート / ブック / 立体物
最大原稿サイズ	定形 : A3 (297mm × 420mm) / 11" × 17" (279.4mm × 432mm) 不定形 : 324mm × 483mm (原稿ガラス使用時)
立体物	重さ : 最大 6.8 kg
原稿合わせ位置	左奥基準
読み取り解像度	200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpi, 1200dpi
原稿読み取り速度	A4 : 最大片面 105 枚 / 分 8.5 × 11 : 最大片面 103 枚 / 分
インターフェイス	イーサネット (1000BASE-T/100BASE-TX/10Base-T)
スキャン機能の種類	<ul style="list-style-type: none"> · Scan to E-mail · Scan to HDD · Scan to FTP · Scan to SMB · Web サービス (WS スキャン)
スキャンファイルフォーマット圧縮方式	TIFF/XPS/PDF/ 暗号化 PDF フォーマットファイルを MMR 圧縮 ※暗号化 PDF の場合は、パスワード設定が必要 ※圧縮方法は MH 圧縮に変更可能。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
読み取り時設定可能項目	原稿設定、画質設定、倍率設定、読み込みサイズ、解像度、片面 / 両面、ファイル形式、ファイル名、宛先



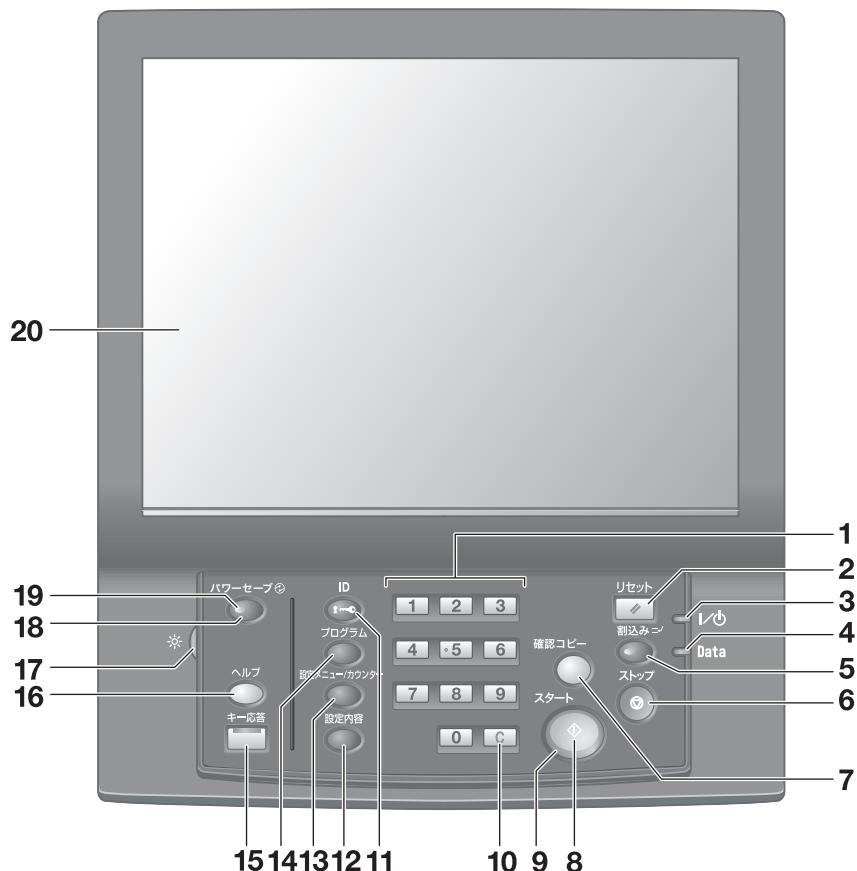
読み取り時設定可能項目の仕様は、解像度、ファイル形式、ファイル名、宛先をのぞき、コピー機の仕様に準じます。詳しくは、コピー編のユーザーズガイドをごらんください。

3

ご使用いただく前に

3 ご使用いただく前に

3.1 操作パネル



番号	名称	説明
1	テンキー	数値などを入力するときに押します。
2	リセット	コピー条件を初期状態にもどすときに押します。
3	電源ランプ	主電源スイッチを入れると赤色に点灯し、副電源スイッチを入れると緑色に変わります。
4	データランプ	プリントデータの受信中に点滅します。
5	割込み	コピー、プリンター、スキャナー作業中、他のコピー条件でコピーしたいときに押します。
6	ストップ	出力を一時停止したり、機械の動作を中断したりするときに押します。
7	確認コピー	設定したコピー条件を確認するため、1部をプリント、または先頭1ページをプリントするときに押します。
8	スタート	各機能を開始するときに押します。
9	スタートランプ	動作を開始できるとき、青色になります。 動作を開始できないときはオレンジ色になります。
10	C (枚数クリア)	入力した数値を変更するときに押します。

番号	名称	説明
11	ID	ユーザー認証／部門管理が設定されている場合、認証を得て機械を使用した後、次のユーザーが再び認証を得てから機械を使用できるようにするときに押します。
12	設定内容	現在設定されているコピー条件を確認するため、設定確認画面を表示するときに押します。
13	設定メニュー／カウンター	設定メニュー画面や各種カウンターを表示するときに押します。
14	プログラム	任意のコピー条件を登録したり、登録したコピー条件や直前のコピー条件を呼出したりするときに押します。
15	キー応答	タッチパネルのボタンや操作パネルのキーを押したときの応答時間を調整するときに押します。
16	ヘルプ	現在タッチパネルに表示されている画面の操作方法を説明するヘルプ画面を表示するときに押します。機械状態画面を表示しているときに押すと、各種補給方法や廃棄方法を表示します。
17	輝度調整つまみ	タッチパネルの輝度を調整するときに回します。
18	パワーセーブ	パワーセーブランプが点灯して、パワーセーブの状態にある機械を使用するときに押します。また、手動でパワーセーブにするときに押します。
19	パワーセーブランプ	機械がシャットオフ／ローパワーなどのパワーセーブの状態にあるときや、ウイークリータイマーが働いてOFFの状態にあるときに点灯します。
20	タッチパネル	機能を設定するための各種画面を表示します。

⚠ 注意

操作パネルのタッチパネルに、硬いものや先の尖ったものをあてないでください！

- 傷がついたり割れたりしてけがをすることがあります。タッチパネルは、指を使って操作してください。

⚠ 注意

サービスコール画面が表示され、コピーできなくなった場合は、ただちに操作を中止してください！

- 思わぬ事故になるおそれがあります。メッセージ2行目のレポートコードを書留めてから、副電源スイッチ、主電源スイッチの順にOFFにして、本体の電源プラグを抜きます。その後、サービス実施店に連絡して、書留めたレポートコードをお知らせください。

重要

主電源スイッチは、通常ONの状態を維持します。普段は、主電源をOFF/ONしないでください。

副電源スイッチをOFFにする前に、主電源スイッチをOFFにしないでください。

副電源スイッチをOFFにした後、下記のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチをOFFにしないでください。

[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます]

[電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい]

これらのメッセージが表示されているときに主電源スイッチをOFFにすると、機械の中でトナー固着などの致命的なトラブルが発生するおそれがあります。



電源の切り方については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

3.2 タッチパネルの操作方法

ネットワークスキャナー機能を使用するには、タッチパネルを使います。

⚠ 注意

- タッチパネルのボタンに軽く触れるだけで、項目を選択できます。

項目の選択

タッチパネルにキー表示された項目を押して、項目を選択します。

選択された項目は、反転して表示されます。



情報の入力

タッチパネル表示されるテンキーを押して、設定値を入力します。

⚠ 注意

- 操作パネルのテンキーから入力することもあります。



文字の入力方法についての詳細は、3-6 ページをごらんください。



ページの移動

項目が一覧で表示される画面で、表示が1ページにおさまらないときは、 /  を押してページを切替えます。



⚠ 注意

- 操作パネルのテンキーから入力することもあります。



文字の入力方法についての詳細は、3-6 ページをごらんください。

3.3 文字を入力するには

文字を入力できる項目のキーに軽く触ると、文字を入力する画面が開きます。

文字を入力する画面には、英記号、ローマ字、かな漢字、カタカナの3種類の画面があります。どの画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字の種類によります。



それぞれの画面については、次のページをごらんください。

文字入力画面（英記号）3-7ページ

文字入力画面（ローマ字）3-7ページ

文字入力画面（かな漢字）3-8ページ

文字入力画面（カタカナ）3-9ページ

文字入力画面のキーについて

英記号、ローマ字、かな漢字、カタカナを入力する画面に共通のキーについて説明します。



英記号	英数字と記号を入力する画面に切替えます。
ローマ字	ローマ字を入力する画面に切替えます。
かな漢字	ひらがなと漢字を入力する画面に切替えます。
カタカナ	カタカナを入力する画面に切替えます。
◀/▶	カーソルの位置を移動します。
削除	カーソルの1つ前の文字を削除します。
OK	入力した文字を確定してから、文字を入力する画面を閉じます。
キャンセル	入力した文字を解除してから、文字を入力する画面を閉じます。

文字入力について

それぞれの画面で文字を入力する手順を説明します。

1 文字のキーと記号のキーを押して、文字を入力します。

- 英記号は、[Shift] で大文字と小文字とを切替えます。
- ローマ字は、[変換] / [無変換] でローマ字、ひらがな、カタカナ、漢字の入力を切替えます。
- かな漢字は、[変換] / [無変換] でひらがな、漢字の入力を切替えます。
- カタカナは、[全角] / [半角] で全角カタカナと半角カタカナとを切替えます。

2 [OK] を押します。

文字を入力する画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

文字入力画面（英記号）

アルファベット、数字、記号、スペースを入力できます。コンピューターのキーボードの配列と同じ文字の並びです。

スペース（空白）は、この画面だけから入力できます。



Shift

大文字と小文字とを、また、数字と記号とを切替えます。

文字入力画面（ローマ字）

ローマ字を入力できます。[変換] キーを使用して、ひらがな、カタカナ、漢字に変換できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで、反転表示されます。



変換

ひらがな、カタカナ、漢字に変換する画面が表示されます。

無変換

ローマ字のまま、入力した文字を確定します。

Shift

大文字と小文字とを、また、数字と記号とを切替えます。

文字入力画面（かな漢字）

ひらがなと漢字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで、反転表示されます。最大で 10 文字を一度に変換できます。



変換

カタカナおよび漢字に変換する画面が表示されます。

無変換

ひらがなのまま、入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換の候補から目的の漢字を選択してから、[OK] を押します。候補件数が 6 件以上のときは、変換画面を以下のボタンで切替えてすべての候補を確認できます。



先頭

候補を表示するページが複数のときに、最初のページに切替えます。

前候補

候補を表示するページが複数のときに、前のページに切替えます。

次候補

候補を表示するページが複数のときに、次のページに切替えます。

最後

候補を表示するページが複数のときに、最後のページに切替えます。

文字入力画面 (カタカナ)

カタカナを入力できます。[全角] / [半角] で、全角カタカナと半角カタカナとを切替えます。



全角	半角カタカナを入力する画面のときに表示されます。全角カタカナを入力する画面に切替えます。
半角	全角カタカナを入力する画面のときに表示されます。半角カタカナを入力する画面に切替えます。

3.4 検索するには

ネットワークスキャナー機能では、宛先やファイルを検索できます。

宛先の検索（スキャナーの検索機能）

登録されている複数の宛先の中から、目的の宛先を検索できます。

検索

登録されている宛先を【検索】キーを使用して検索する機能です。検索できる宛先には、E-mail のアドレス、HDD の保存先、FTP サーバーのアドレス、SMB サーバーのアドレスがあります。

【検索】キーの使い方は以下のとおりです。

1 [検索] を押します。



2 宛先を登録するときに入力した検索文字を入力してから、[OK] を押します。



- 検索は 1 文字から行えます。
 - 検索した結果の候補が多いときは、【検索】を押して検索文字を追加できます。
(検索のために入力した文字は、スキャナ動作が行われるまで保持されます。)
 - 【キャンセル】を押すと、検索文字の入力は解除され、検索文字を入力する画面が閉じます。
 - LDAP 検索に必要な情報が設定されているときは、【通常検索】 / 【LDAP 検索】を選択する画面が表示されます。【通常検索】を選択すると、上記の画面が表示されます。
- 該当する宛先が表示されます。

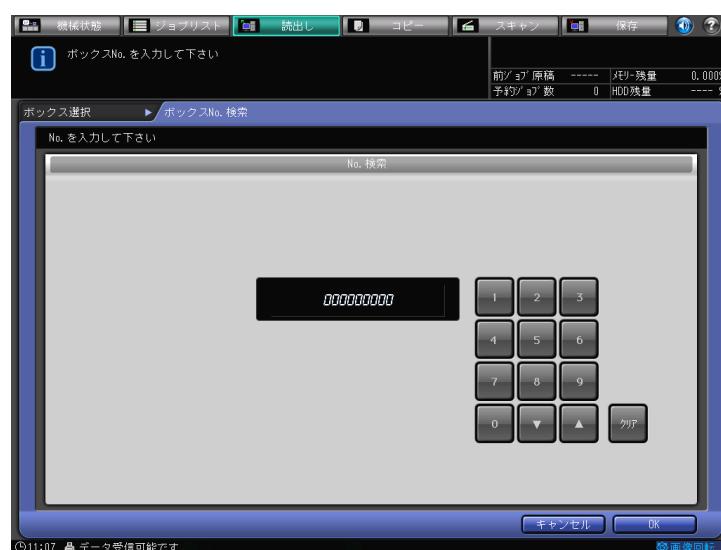
No. 検索

保存 / 読出し機能で、ボックス No. を指定してボックスを検索できます。

- [No. 検索] を押します。



- 検索するボックス No. を入力してから、[OK] を押します。



該当するボックス内のファイル一覧画面が表示されます。

→ 該当するボックスが見つからないときは、「該当するボックスがありません」と表示されます。

ダイレクト呼出し

保存 / 読出し機能で、フォルダーネーム、ボックス名、ファイル名ともにわかっているときは、[ダイレクト呼出し] で検索できます。

- [ダイレクト呼出し] を押します。



- フォルダーネームを入力してから、[OK] を押します。



- 共有フォルダーカーから [ダイレクト呼出し] を押したときは、フォルダーネームを入力する画面は表示されません。

3 ボックス名を入力してから、[OK] を押します。



4 ファイル名を入力してから、[OK] を押します。



該当するファイルが選択された画面が表示されます。

→ 該当するファイルが見つからないときは、「ダイレクト呼出できませんでした」と表示されます。

LDAP 検索

LDAP サーバーにあるデータベースから、操作パネルで入力した検索条件と一致する情報を取得できます。また、取得した E-mail アドレスを選択して、送信および登録もできます。

- E-mail アドレスを選択する画面で、[検索] を押します。



→ LDAP 検索を行うには設定が必要です。
LDAP 検索機能の各設定については、管理者にお問い合わせください。

- [LDAP 検索] を押します。



3 [単検索] または [複合検索] を押します。



- [単検索]
1つのキーワードを指定して検索できます。
[登録名]、[E-mail]、[姓]、または [名] が指定したキーワードで始まる宛先を検索できます。
- [複合検索]
[登録名]、[E-mail]、[姓]、[名] に対して、それぞれのフィルターにそれぞれのキーワードを指定して検索できます。
条件として、[同じ]、[含む]、[始まる]、または [終わる] を選択できます。

4 検索の条件を設定してから、検索を開始します。

[単検索] の場合

- キーワードを入力してから、[OK] を押します。



- 半角で 20 文字まで、全角で 10 文字まで入力できます。

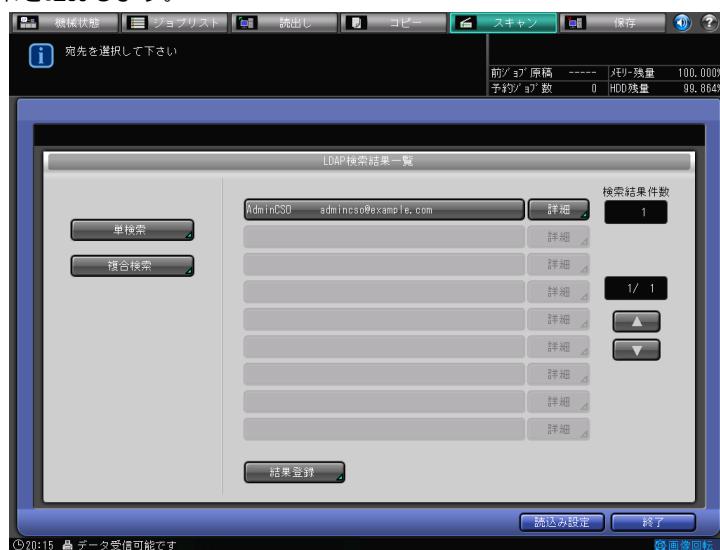
[複合検索] の場合

→ 条件の設定とキーワードの入力の後に、[検索開始] を押します。



- [条件] の列のボタンを押して表示される画面で、条件を選択します。
 → それぞれのフィルターに、半角で 20 文字まで全角で 10 文字まで入力できます。

5 検索結果を確認します。



- 最大で 100 件の宛先が表示されます。
 → 宛先を選択してから [詳細] を押すと、選択した宛先の詳細な情報を確認できます。

6 送信する場合：

宛先を選択してから、[読み込み設定] を押します。

スキャン設定の基本画面が表示されます。

- 複数の宛先に同時に送信したいときは、[宛先] を押したあとに目的の宛先を選択してから、[読み込み設定] を押します。

原稿をセットしてから、[スタート] を押します。

- スキャン設定の基本画面については、7-35 ページをごらんください。

7 登録する場合：

登録したい宛先を選択して、[登録] を押します。

- 複数の宛先を選択しているときは、最後に選択した宛先が登録されます。

3.5 サムネイル

ハードディスクに保存されているデータを送信または出力するときに、[サムネイル] を押して、データの内容を事前に確認できます。



名称	説明
[先頭]	先頭のページのサムネイルを表示します。
[1 ページ前]	前のページのサムネイルを表示します。
[1 ページ後]	次のページのサムネイルを表示します。
[最後]	最後のページのサムネイルを表示します。
[ページ指定]	サムネイルを表示するページを指定します。指定されたページのサムネイルを表示します。
[閉じる]	サムネイルの表示を終了します。

4

保存 / 読出し機能について

4 保存 / 読出し機能について

保存 / 読出し機能では、保存画面および読み出し画面を使って、以下の操作ができます。

- ハードディスクに保存したデータをいつでも何度も出力できます。
- コンピューターからのプリントジョブとスキャンデータを結合して、一つのジョブとして出力できます。
- ハードディスクに保存したデータを、FTP サーバーか SMB サーバーにアップロードできます。

4.1 保存 / 読出し機能のながれ

保存 / 読出し機能のおもなながれを以下に示します。

- [保存] 画面で、フォルダーおよびボックスを作成します。
- フォルダーには、各ユーザーが個人で使用する個人フォルダーと、複数のユーザーが共有して使用する共有フォルダーがあります。
- ハードディスク内のデータを FTP サーバーおよび SMB サーバーにアップロードできます。

⬇
⬇
⬇



フォルダーの作成 : 4-3 ページ

ボックスの作成 : 4-7 ページ

FTP/SMB ヘップロード : 4-29 ページ

- スキャンしたデータを、[保存] 画面で作成したボックスに保存します。



スキャンデータの取り込み : 4-15 ページ

- ハードディスクのボックスに保存したスキャンデータを [読み出し] 画面で出力します。



データの出力 : 4-21 ページ

4.2 個人フォルダーを作成する

データを保存および読出るために、各ユーザーが個人フォルダーを作成します。

4.2.1 個人フォルダーの作成

- ✓ 個人フォルダーは、最大で 1000 件まで登録できます。

1 [保存] を押します。



2 [スキャン to HDD] を押します。

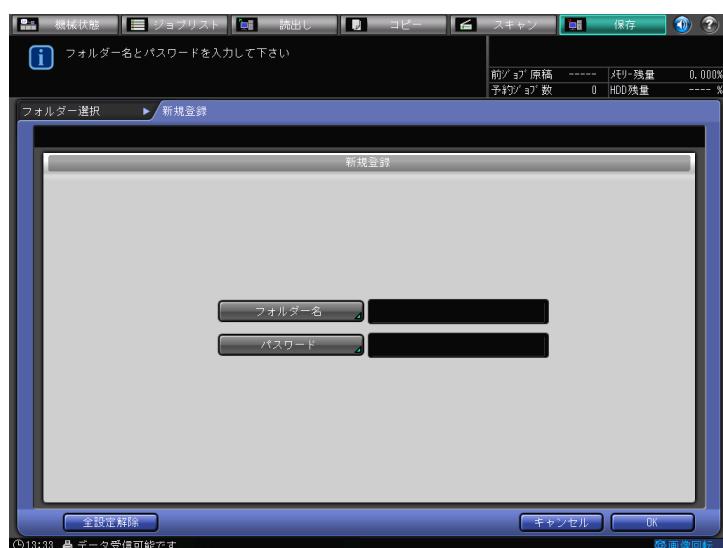


3 [個人フォルダー] を押します。

4 [新規登録] を押します。



5 [フォルダー名] を押します。



6 フォルダー名を入力してから、[OK] を押します。



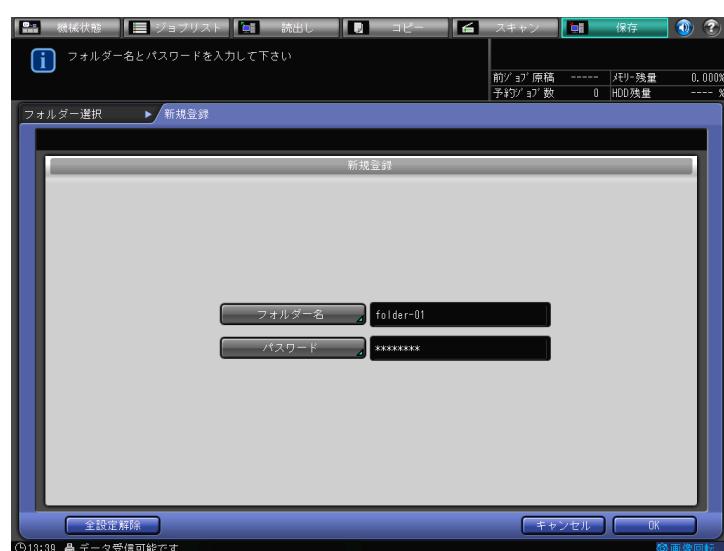
7 フォルダーにパスワードを設定するときは、[パスワード] を押します。



8 パスワードを入力してから、[OK] を押します。



9 [OK] を押します。



10 フォルダーが作成されたことを確認します。



4.3 ボックスを作成する

スキャンしたデータを保存するには、ハードディスクの中のフォルダー内にボックスをあらかじめ作成しておく必要があります。



ここでは、[保存] 画面でボックスを作成する方法を説明します。PageScope Web Connection を使用してボックスを作成する方法については、4-40 ページをごらんください。

ここでは、個人フォルダーおよび共有フォルダーにボックスを作成する方法を説明します。機密フォルダー内にボックスを作成する方法については、8-2 ページをごらんください。

4.3.1 個人フォルダーにボックスを作成する

- ✓ ボックスは、最大で 1000 件まで登録できます。

1 [保存] を押します。



2 [スキャン to HDD] を押します。



3 [個人フォルダー] を押します。

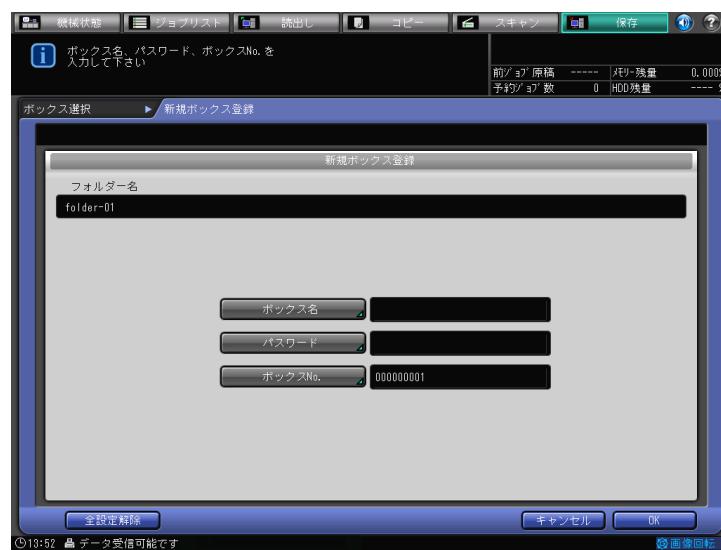
4 ボックスを作成するフォルダーを選択してから、[ボックスへ] を押します。



5 [新規ボックス] を押します。



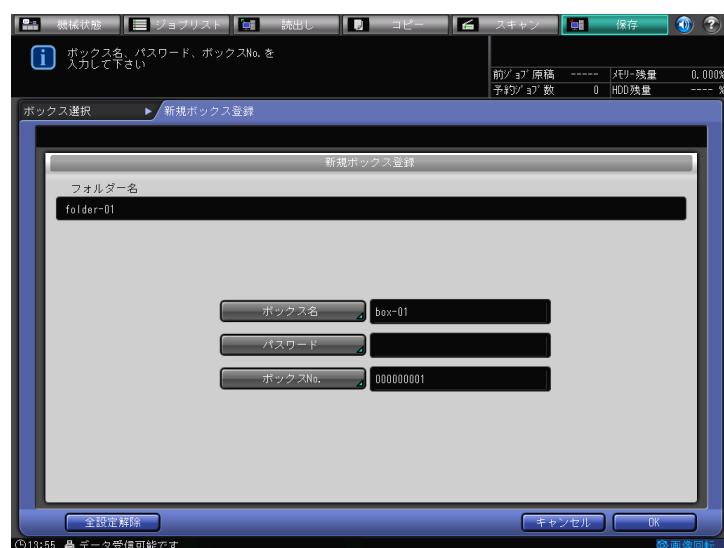
6 [ボックス名] を押します。



7 ボックス名を入力してから、[OK] を押します。



8 ボックスにパスワードを設定するときは、[パスワード] を押します。



9 パスワードを入力してから、[OK] を押します。



10 [OK] を押します。



- [ボックス No.] は自動的に設定されます。[ボックス No.] を変更するには、[ボックス No.] を押してから任意のボックス No. を入力します。
- すでに登録されている [ボックス No.] は使用できません。
- [ボックス No.] には、9桁 (000000001 ~ 999999999) の数字を入力します。
- ボックス名を登録しないときは、ボックス No. がボックス名として表示されます。

11 個人フォルダー内にボックスが作成されたことを確認します。



4.3.2 共有フォルダーにボックスを作成する

- ✓ ボックスは、最大で 1000 件まで登録できます。

1 [保存] を押します。

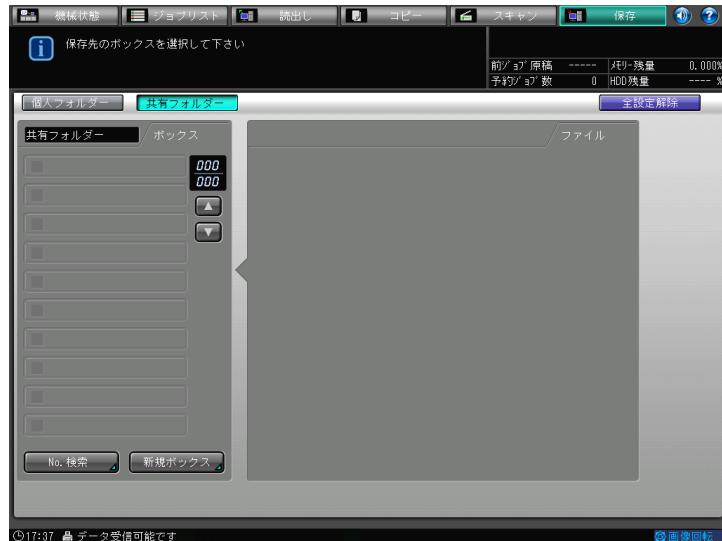


2 [スキャン to HDD] を押します。

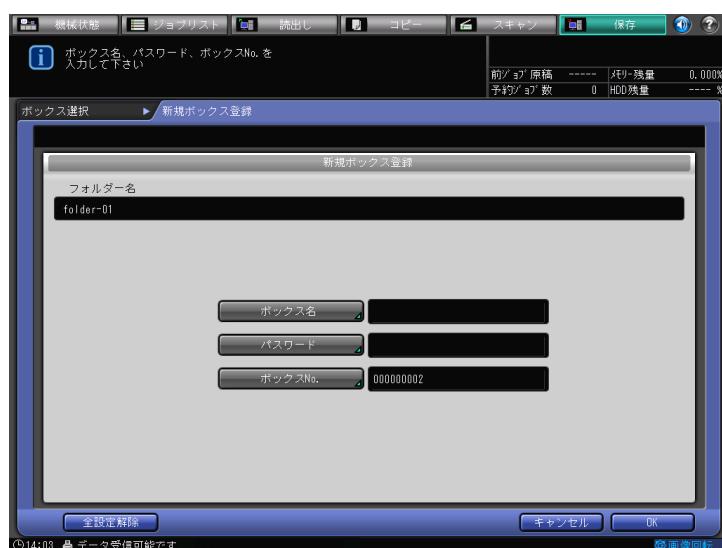


3 [共有フォルダー] を押します。

4 [新規ボックス] を押します。



5 [ボックス名] を押します。



6 ボックス名を入力してから、[OK] を押します。



7 ボックスにパスワードを設定するときは、[パスワード] を押します。



8 パスワードを入力してから、[OK] を押します。



9 [OK] を押します。



- [ボックス名] は自動的に設定されます。[ボックス No.] を変更するには、[ボックス No.] を押してから任意のボックス No. を入力します。
- すでに登録されている [ボックス名] は使用できません。
- [ボックス名] には、9桁 (000000001 ~ 999999999) の数字を入力します。
- ボックス名を登録しないときは、ボックス No. がボックス名として表示されます。

10 共有フォルダー内にボックスが作成されたことを確認します。



4.4 スキャンデータの取り込み

コピーしたものを出力せずにスキャンデータとして保存するには、[保存] 画面で保存先を選択します。

ハードディスクにデータを保存しておくと、いつでもプリントできます。また、コンピューターから送信されるプリントジョブと結合してプリントすることができます。

4.4.1 個人フォルダーのボックスに取込む

1 [保存] を押します。

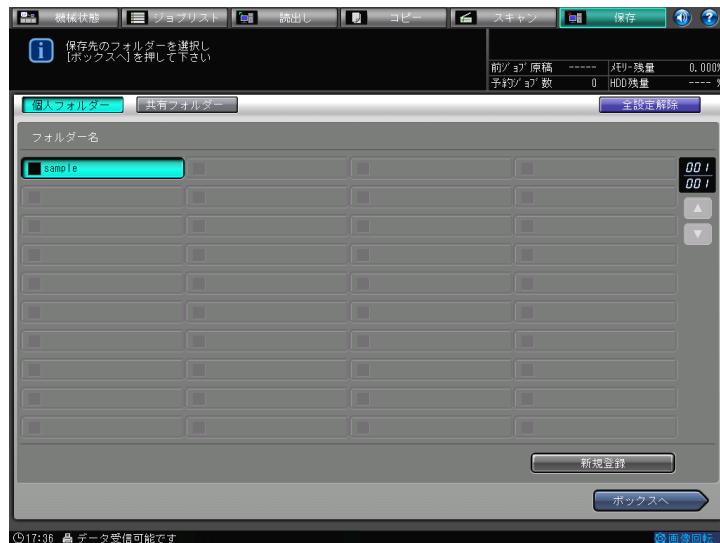


2 [スキャン to HDD] を押します。



3 [個人フォルダー] を押します。

4 データを保存するフォルダーを選択してから、[ボックスへ] を押します。



- フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

5 データを取込むボックスを選択してから、[新規ファイル保存] を押します。



- ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。
 → [No.検索]を押してからボックス No. を入力すると、ボックス No. でボックスの検索ができます。
 [No.検索]についての詳細は、3-11 ページをごらんください。

6 取込むデータのファイル名を入力してから、[OK] を押します。



7 必要な設定を行います。



→ スキャン設定の基本画面についての詳細は、7-35 ページをごらんください。

8 原稿をセットしてから、[スタート] ボタンを押します。

スキャンが開始されて、選択したボックスにデータが保存されます。

9 スキャン操作を続けるかどうかを確認する画面が表示されます。操作を続けるときは [はい] を、終了するときは [いいえ] を押します。

→ [はい] を押したときは、手順 4 以降の操作を繰り返します

4.4.2 共有フォルダーのボックスに取込む

ハードディスクにデータを保存しておくと、いつでもプリントできます。また、コンピューターから送信されるプリントジョブと結合してプリントできます。

- [保存] を押します。



- [スキャン to HDD] を押します。



3 [共有フォルダー] を押します。



4 データを取込むボックスを選択してから、[新規ファイル保存] を押します。



- ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。
- [No.検索]を押してからボックス No. を入力すると、ボックス No. でボックスの検索ができます。[No.検索]についての詳細は、3-11 ページをごらんください。

5 取込むデータのファイル名を入力してから、[OK] を押します。



6 必要な設定を行います。



→ スキャン設定の基本画面についての詳細は、7-35 ページをごらんください。

7 原稿をセットしてから、[スタート] ボタンを押します。

スキャンが開始されて、選択したボックスにデータが保存されます。

8 スキャン操作を続けるかどうかを確認する画面が表示されたら、操作を続けるときは [はい] を、終了するときは [いいえ] を押します。

→ [はい] を押したときは、手順 4 以降の操作を繰り返します

4.5 データの出力

ハードディスクに保存したデータを、[読み出し] 画面で出力できます。

4.5.1 個人フォルダー内のデータを出力する

- [読み出し] を押します。



- [個人フォルダー] を押します。
- 出力したいデータがあるフォルダーを選択してから、[ボックスへ] を押します。



→ フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから、[OK] を押します。

4 出力したいデータがあるボックスを選択します。



→ ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

5 出力したいファイルを選択してから、 を押します。

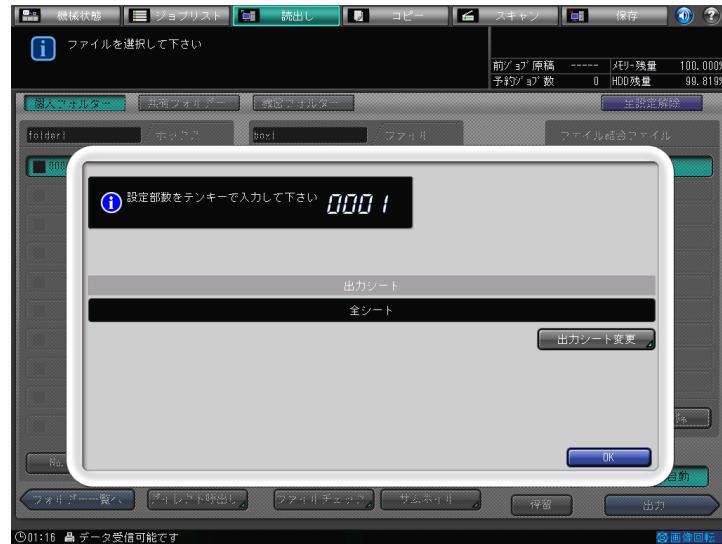


6 [ブルーフ(先頭1枚)]、[ブルーフ]、[ウエイト]、[自動]、[保留] のいずれかを選択してから、[出力] を押します。



[ファイルチェック]	選択したファイルの設定内容の一覧が表示されます。
[サムネイル]	選択したファイルのサムネイルが表示されます。
[結合対象] - [ファイル]	ファイルが持つ設定および属性を保持したまま、選択したファイルを一度に出力できます。 最大で 10 個のファイルを一度に結合できます。
[結合対象] - [イメージ]	ファイルが持つ設定および属性を保持せずに、選択したファイルを 1 つのファイルとして一度に出力できます。 最大で 10 個のファイルを一度に結合できます。 必要に応じて、[自動] 以外の出力方法を選択して、設定を追加してください。 [設定確認] 画面で、または、[ジョブリスト] 画面の [チケット編集] で追加できます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[ファイル削除]	選択したファイルを削除します。 確認メッセージの画面で、[はい] を押すとファイルが削除されます。
[全解除]	全ての出力設定を解除します。
[解除]	出力設定を解除します。
[プルーフ (先頭 1 枚)]	1 ページ目だけを出力してから停止して、設定を確認する画面を表示します。 出力結果を確認して問題がないときは、[スタート] ボタンを押してから出力を再開します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[プルーフ]	複数の部数を印刷するときに、1 部だけ出力してから停止した後、設定を確認する画面が表示されます。 出力結果に問題がないときは、[スタート] ボタンを押して出力を再開します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[ウエイト]	読み出し後に停止してから、設定を確認する画面を表示します。 設定を変更できます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[自動]	このボタンが選択されていると、[スタート] ボタンを押さなくても出力が開始されます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[保留]	このボタンが選択されていると、ジョブが [ジョブリスト] 画面の [保留中] に移動します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[出力]	選択したファイルを出力します。

- 7 [自動] を選択したときは、出力する部数を確認する画面が表示されます。テンキーで出力する部数を入力してから、[OK] を押します。



- [出力シート変更] を押して、すべてのページを出力するかページを指定して出力するかを切替えられます。
すべてのページを出力するには、[全シート] を選択します。
ページを指定して出力するには、[シート指定] を選択してからページを番号で指定します。
選択したファイルが出力されます。
- 8 続けて出力するかどうかを確認する画面が表示されます。操作を続けるときは [はい] を、終了するときは [いいえ] を押します。
→ [はい] を押したときは、手順 5 以降の操作を繰り返します。

4.5.2 共有フォルダー内のデータを出力する

- 1 [読み出し] を押します。



- 2 [共有フォルダー] を押します。
 - 3 出力したいデータがあるボックスを選択します。



→ ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

4 出力したいファイルを選択してから、を押します。



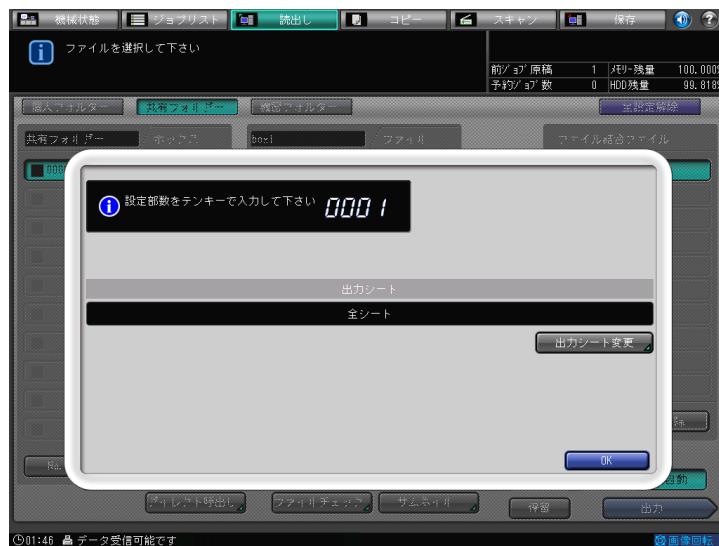
5 [プルーフ (先頭 1 枚)]、[プルーフ]、[ウェイト]、[自動]、[保留] のいずれかを選択してから、[出力] を押します。



[ファイルチェック]	選択したファイルの設定内容一覧が表示されます。
[サムネイル]	選択したファイルのサムネイルが表示されます。
[結合対象] - [ファイル]	ファイルが持つ設定および属性を保持したまま、選択したファイルを一度に出力できます。 最大で 10 個のファイルを一度に結合できます。
[結合対象] - [イメージ]	ファイルが持つ設定および属性を保持せずに、選択したファイルを 1 つのファイルとして一度に出力できます。 最大で 10 個のファイルを一度に結合できます。 必要に応じて、[自動] 以外の出力方法を選択して、設定を追加してください。 [設定確認] 画面で、または、[ジョブリスト] 画面の [チケット編集] で追加できます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[ファイル削除]	選択したファイルを削除します。 確認メッセージの画面で、[はい] を押すとファイルが削除されます。
[全解除]	全ての出力設定を解除します。
[解除]	出力設定を解除します。

[プルーフ (先頭 1 枚)]	1 ページ目だけを出力してから停止して、設定を確認する画面を表示します。 出力結果を確認して問題がないときは、[スタート] ボタンを押してから出力を再開します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[プルーフ]	複数の部数を印刷するときに、1 部だけを出力してから停止して、設定を確認する画面を表示します。 出力結果に問題がないときは、[スタート] ボタンを押して出力を再開します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[ウェイト]	読み出し後に停止してから、設定を確認する画面を表示します。 設定を変更できます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[自動]	このボタンが選択されていると、[スタート] ボタンを押さなくても出力が開始されます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[保留]	このボタンが選択されていると、ジョブが [ジョブリスト] 画面の [保留中] に移動します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[出力]	選択したファイルを出力します。

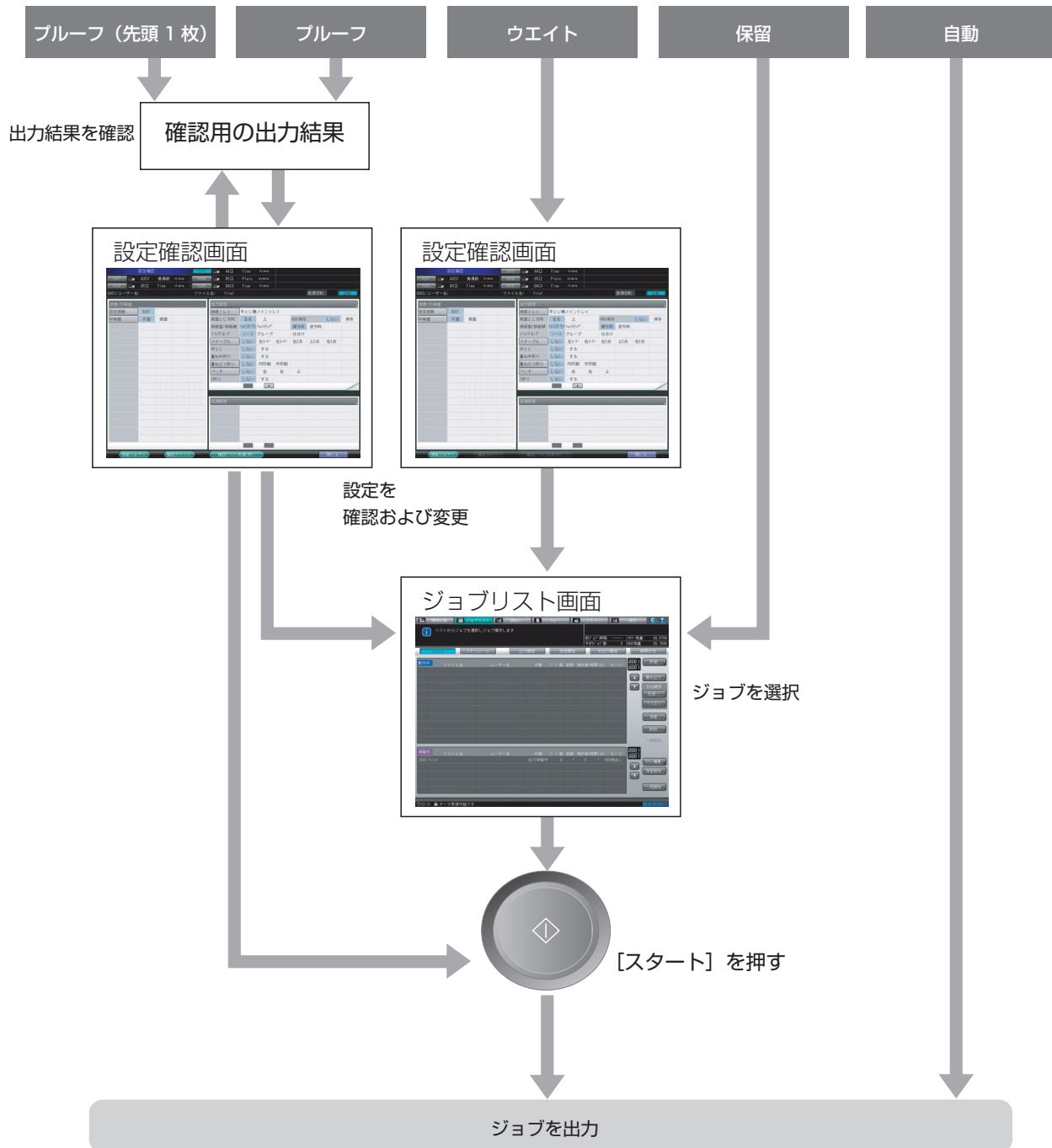
- 6 [自動] を選択したときは、出力する部数を確認する画面が表示されます。テンキーで出力する部数を入力してから、[OK] を押します。



- [出力シート変更] を押して、すべてのページを出力するかページを指定して出力するかを切替えられます。
すべてのページを出力するには、[全シート] を選択します。
ページを指定して出力するには、[シート指定] を選択してからページを番号で指定します。
選択したファイルが出力されます。

- 7 続けて出力するかどうかを確認する画面が表示されます。操作を続けるときは [はい] を、終了するときは [いいえ] を押します。
→ [はい] を押したときは、手順 5 以降の操作を繰り返します。

4.5.3 出力操作のながれ



⚠ 注意

- ジョブを出力しないで終了するときは、設定内容画面で [閉じる] を押してから [ジョブリスト] 画面の [ジョブ] から現在のジョブを削除してください。削除しないと、これ以降のジョブが出力されなくなります。ジョブを削除する方法について詳しくは、「ユーザーズガイド (コピー編)」をごらんください。

4.6 スキャンしたデータを FTP/SMB へアップロード

ハードディスクに保存したデータは、FTP/SMB サーバーにアップロードできます。

- ✓ ハードディスクのデータを FTP/SMB へアップロードするには、本機のネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については、管理者にお問い合わせください。

1 [保存] を押します。



2 [HDD to FTP/SMB] を押します。



3 フォルダーを選択します。

- 個人フォルダーを選択するときは、[個人フォルダー] を押したあと、一覧からフォルダーを選択してから [ボックスへ] を押します。



- 個人フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

- 共有フォルダーを選択するときは、[共有フォルダー] を押します。



- [ダイレクト呼出し] を押して、ファイルを直接指定できます。[ダイレクト呼出し] については、3-12 ページをごらんください。

4 ボックスを選択します。

→ 個人フォルダーの場合 :



→ 共有フォルダーの場合 :



→ ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

→ [No.検索] を押してボックス No. を入力すると、ボックスを検索できます。詳しくは 3-11 ページをごらんください。

5 ファイルを選択してから、[宛先選択へ] を押します。

→ 個人フォルダーの場合：



→ 共有フォルダーの場合：

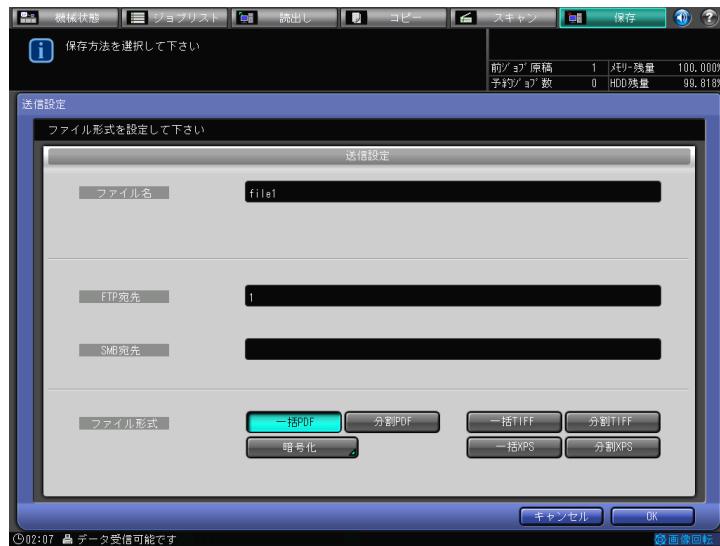


6 [FTP] または [SMB] を選択した後、宛先を選択してから [送信設定へ] を押します。



→ FTP と SMB には、同時に送信できます。

- 7 ファイル名と、FTP の宛先または SMB の宛先を確認した後、ファイルフォームを選択してから [OK] を押します。



コンピューターへのデータ送信が開始されます。

- 8 続けてアップロードを行うかどうかを確認する画面が表示されます。アップロードを続けるときは [はい] を、終了するときは [いいえ] を押します。



→ [はい] を押したときは、ファイルの一覧画面が表示されるので、手順 5 以降の操作を繰返します。

4.7 フォルダー / ボックスの削除

フォルダーおよびボックスを削除するには、[読み出し] 画面で操作します。



機密フォルダーを削除する方法については、8-9 ページをごらんください。

4.7.1 個人フォルダーを削除する

1 [読み出し] を押します。



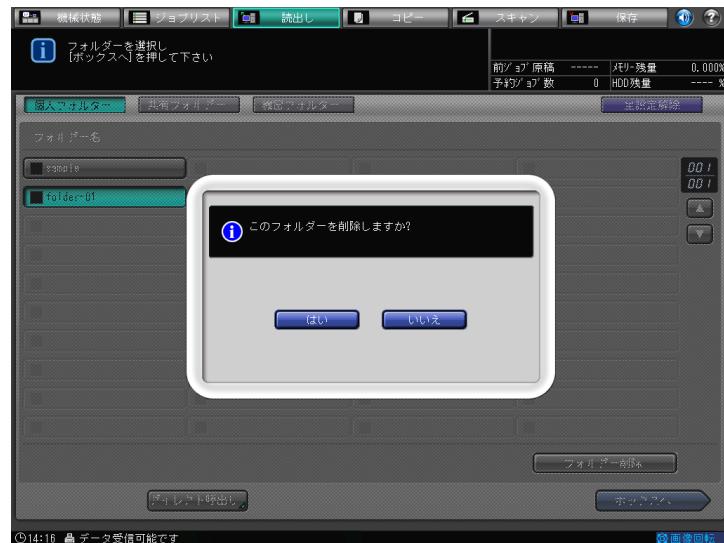
2 [個人フォルダー] を押します。

3 削除するフォルダーを選択してから、[フォルダー削除] を押します。



→ フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

4 [はい] を押します。



5 個人フォルダーが削除されたことを確認します。



4.7.2 個人フォルダーのボックスを削除する

- [読み出し] を押します。



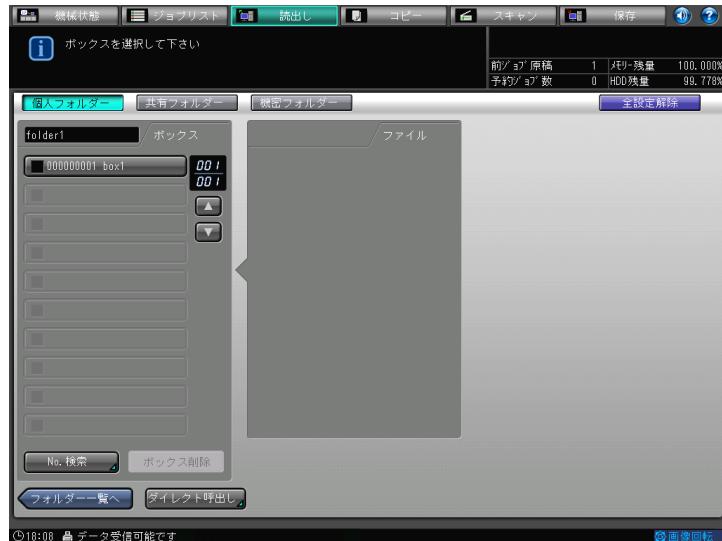
- [個人フォルダー] を押します。

- フォルダーを選択してから、[ボックスへ] を押します。



→ フォルダーにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

4 削除するボックスを選択してから、[ボックス削除] を押します。



→ ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

5 [はい] を押します。



6 個人フォルダー内のボックスが削除されたことを確認します。



4.7.3 共有フォルダーのボックスを削除する

- [読み出し] を押します。



- [共有フォルダー] を押します。
- 削除するボックスを選択してから、[ボックス削除] を押します。



→ ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。

4 [はい] を押します。



5 個人フォルダー内のボックスが削除されたことを確認します。

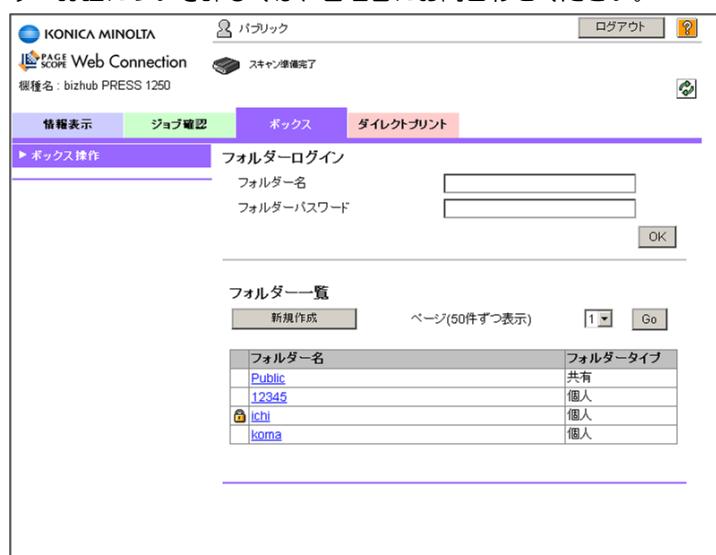


4.8 PageScope Web Connection を使用してボックスを作成する

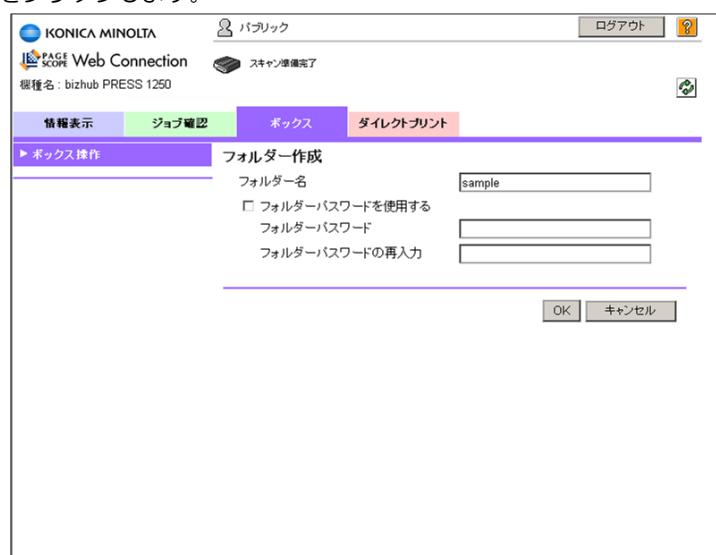
スキャンしたデータを保存するためのボックスは、[保存] 画面で作成する方法と、PageScope Web Connection を使用して作成する方法があります。

ここでは、PageScope Web Connection を使用してボックスを作成する方法を説明します。[保存] 画面でボックスを作成する方法については、4-7 ページをごらんください。

- 1 ブラウザソフトで、イメージコントローラーの IP アドレスを入力します。
PageScope Web Connection の画面が表示されます。
- 2 [ボックス] タブを選択します。
- 3 [新規作成] をクリックします。
→ ユーザー認証を設定しているときには、[新規作成] が表示されません。
ユーザー認証について詳しくは、管理者にお問い合わせください。



- 4 フォルダーネームを入力してから、必要に応じてパスワードを設定します。
- 5 [OK] をクリックします。



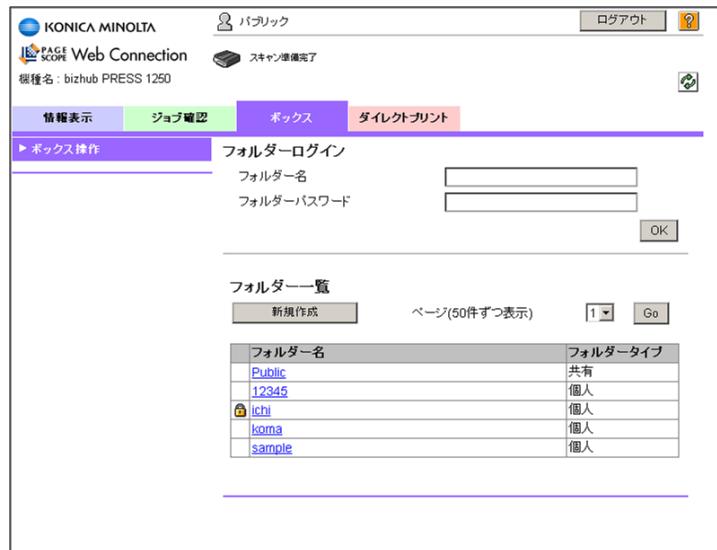
6 [OK] をクリックします。



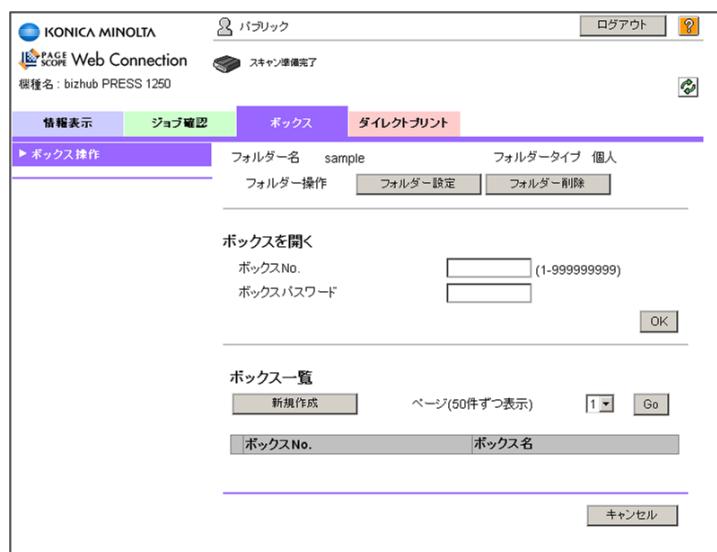
7 [フォルダーログイン] で、フォルダー名を入力します。

[OK] をクリックすると、フォルダーが開きます。

- [フォルダーライブ] でフォルダー名をクリックしても、フォルダーを開けます。
- パスワードが設定されているときは、パスワードも入力します。



8 [新規作成] をクリックします。



9 ボックス No.、ボックス名、パスワードを設定してから、[OK] をクリックします。

- [空き番号を使う] を選択すると、ボックス No. が自動的に割り当てられます。
- [直接入力する] を選択すると、ボックス No. を指定できます。

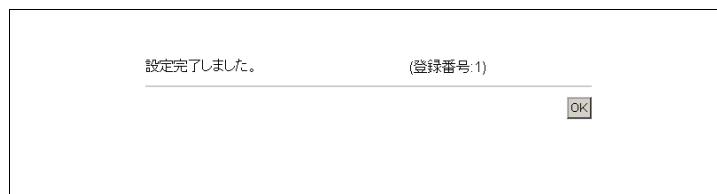
ボックス作成

ボックスNo.
 空き番号を使う
 直接入力する

ボックス名
 ボックスパスワードを使用する

OK キャンセル

10 [OK] をクリックします。



11 ボックスが作成されたことを確認します。

ボックス操作

フォルダ名 sample フォルダタイプ 個人

ボックスを開く
ボックスNo.
ボックスパスワード

OK

ボックス一覧
 ページ(50件ずつ表示) 1 Go

ボックスNo.	ボックス名
1	sample

キャンセル

5

ネットワークスキャナー機能について

5 ネットワークスキャナー機能について

5.1 ネットワークスキャナー機能の概要

ネットワークスキャナー機能は、[スキャン] タブの画面で操作します。

ネットワークスキャナー機能を使用してスキャンしたデータを、E-mail アドレス、ハードディスク、FTP サーバー、SMB サーバーに送信できます。

ハードディスクに保存したスキャンデータを、TWAIN 対応アプリケーションおよび HDD TWAIN ドライバーを利用して、ネットワークにつながれたコンピューターに取込みます。



メールで送信する (5-3 ページ)

ハードディスクに保存する (5-4 ページ)

FTP サーバーに送信する (5-5 ページ)

SMB サーバーに送信する (5-7 ページ)

グループに送信する (5-8 ページ)

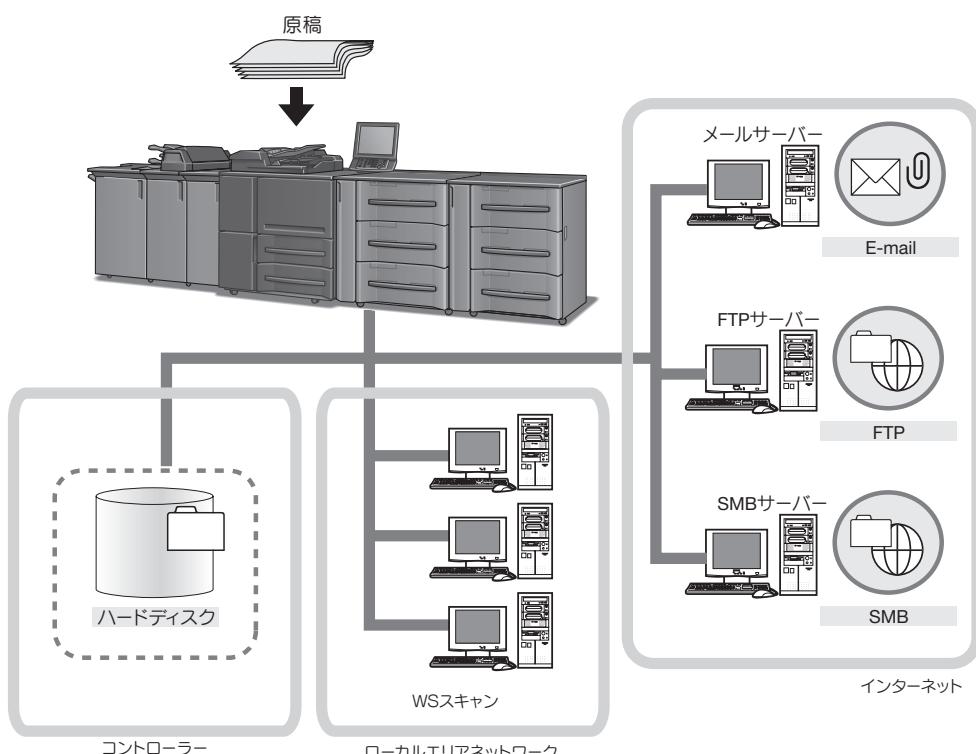
Web サービスを使用して送信する (WS スキャン) (5-10 ページ)

また、濃度、倍率、原稿サイズ、解像度、原稿画質、ファイル形式などを読み込み時に設定してから、スキャンできます。



スキャン設定基本画面について (7-35 ページ)

セキュリティー強化モードが ON にされている場合は、TWAIN 対応アプリケーションおよび HDD TWAIN ドライバーを使用してジョブを取得できません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

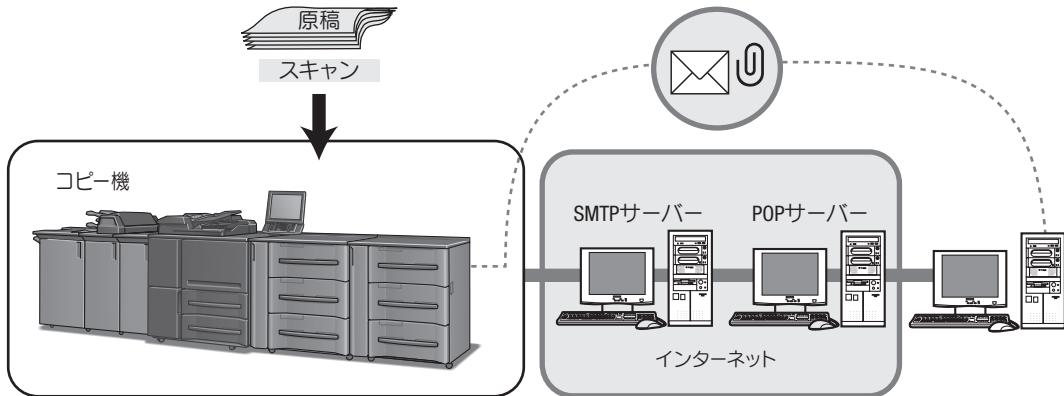


本機をネットワークスキャナーとして使用するには、ネットワークに接続する必要があります。ネットワークの設定の詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5.2 メールで送信する

コピー機のADFまたは原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を、添付ファイルとしてE-mailの宛先に送信できます。

操作方法については、7-4ページをごらんください。



5.2.1 設定する項目

スキャンデータをメールで送信するには、以下の項目を設定します。

宛先 (E-mail アドレス)

E-mail アドレスは、あらかじめ登録された E-mail アドレスから選択するか、スキャン操作のときに指定します。複数の E-mail アドレスを指定できます。

E-mail アドレスの登録方法については、6-4ページをごらんください。

表題設定

E-mail の表題は、設定された 5 種類から選択するか、スキャン操作のときに入力できます。

表題の入力については、7-4ページをごらんください。

本文設定

E-mail の本文は、設定された 5 種類から選択するか、スキャン操作のときに入力できます。

本文の入力については、7-4ページをごらんください。

△ 注意

- E-mail アドレスへの送信には、管理者の E-mail アドレスの設定が必要です。詳しくは「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」の「管理者登録」をごらんください。

コピー機からの送信は、SMTP サーバーまでです。ネットワークの状況や POP サーバーに問題があるときは、受信側にメールが到着しないこともあります。重要なメールを送信するときなどは、受信を必ず確認してください。

△ 注意

- 受信サーバーの設定によっては、添付ファイルのサイズに制限があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

5.3 ハードディスクに保存する

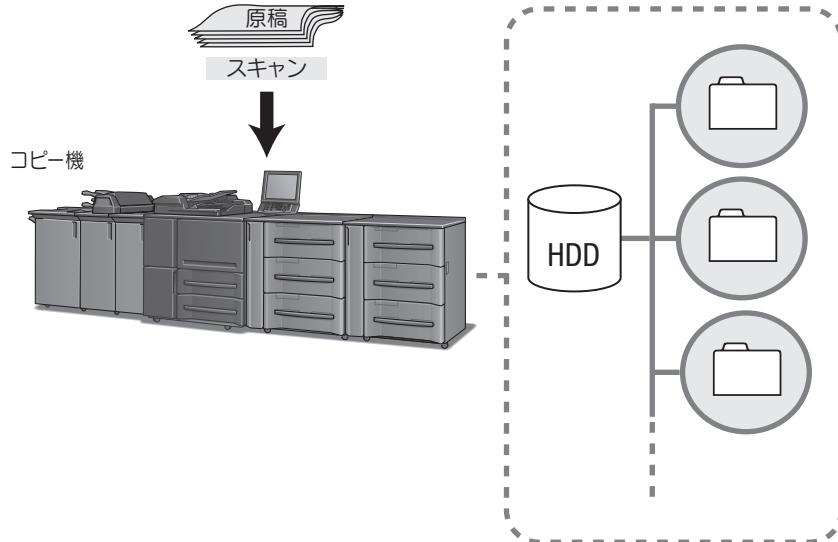
コピー機のADFまたは原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を、ハードディスク内に設定したボックスに保存できます。

操作方法については、7-9 ページをごらんください。

ハードディスクに保存されたデータを、ネットワークを通じてコンピューターに取り込みます。



スキャンデータをコンピューターに取り込む方法については、HDD TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。



5.3.1 設定する項目

スキャンデータをハードディスクへ保存するには、以下の項目を設定します。

ボックス No.

保存先のボックスの番号を入力します。

保存先のボックスは、あらかじめ【機械状態】画面の【コントローラー設定】-【スキャン設定】で作成しておく必要があります。

作成していないボックスの番号を入力したときは、ボックスを作成してからジョブが実行されます。

ボックスの作成方法については、6-6 ページをごらんください。

登録名

保存先のボックスの登録名を設定できます。

検索文字

検索するときのキーワードとして、検索文字を設定できます。

パスワード

ボックスのパスワードを設定できます。



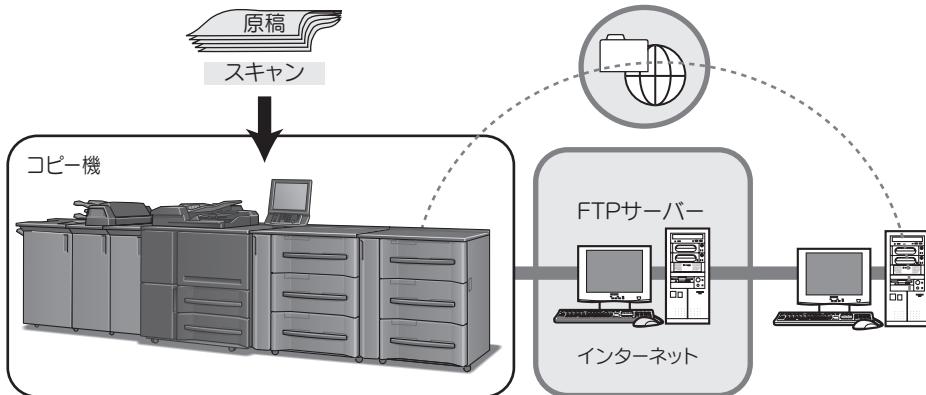
ボックス No.、登録名、検索文字は、あらかじめ登録できます。登録方法については、6-6 ページをごらんください。

5.4 FTP サーバーに送信する

コピー機のADFまたは原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を、FTP サーバーに送信できます。

FTP サーバーに送信したスキャンデータを、FTP サーバーにアクセスできるコンピューターからダウンロードできます。

操作方法については、7-14 ページをごらんください。



5.4.1 設定する項目

スキャンデータを FTP サーバーへ送信するには、以下の項目を設定します。

登録名

FTP サーバーの登録名を設定します。

検索文字

検索するときのキーワードとして、検索文字を設定できます。

ホストアドレス

FTP サーバーの FTP サーバー名、または IP アドレスを指定します。

ファイルパス

FTP サーバー内のディレクトリーを指定します。

ログイン名

FTP サーバーへのログイン名を指定します。

Anonymous

anonymous FTP サーバーにログインするときに設定します。

パスワード

FTP サーバーへのログイン名に応じたパスワードを指定します。

ポート番号

必要に応じて、ポート番号を指定します。

ポート番号の設定方法については、7-14 ページをごらんください。

Firewall

Firewall を使用するときに選択します。

**参照**

登録名、検索文字、ホストアドレス、ファイルパス、ログイン名、パスワード、ポート番号は、あらかじめ登録できます。登録方法については、6-8 ページをごらんください。

⚠ 注意

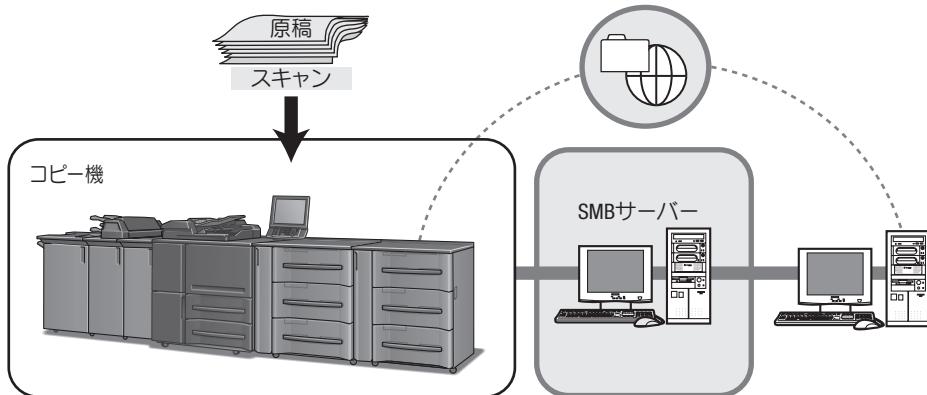
- FTP サーバーへの送信は、ネットワークの状況などにより、スキャンデータが破損することがあります。スキャンデータが破損していないかを、必ず確認してください。

5.5 SMB サーバーに送信する

コピー機のADFまたは原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を、SMB サーバーに送信します。

SMB サーバーに送信したスキャンデータを、SMB プロトコルを搭載したコンピューターとファイル共有できます。

操作方法については、7-20 ページをごらんください。



5.5.1 設定する項目

スキャンデータを SMB サーバーへ送信するには、以下の項目を設定します。

登録名

SMB サーバーの登録名を設定します。

検索文字

検索するときのキーワードとして、検索文字を設定できます。

ホストアドレス

SMB サーバーの SMB サーバー名または IP アドレスを指定します。

ファイルパス

SMB サーバー内のディレクトリーを指定します。

ログイン名

SMB サーバーへのログイン名を指定します。

パスワード

SMB サーバーへのログイン名に応じたパスワードを指定します。



登録名、検索文字、ホストアドレス、ファイルパス、ログイン名、パスワードは、あらかじめ登録できます。登録方法については、6-11 ページをごらんください。

△ 注意

- SMB サーバーへの送信は、ネットワークの状況などにより、スキャンデータが破損することがあります。ファイル共有したスキャンデータが破損していないかを、必ず確認してください。

5.6 グループに送信する

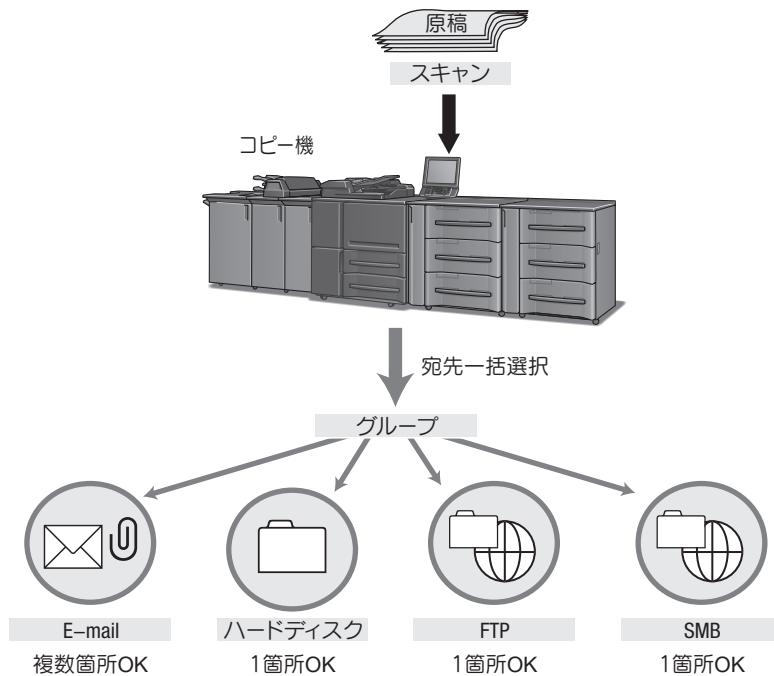
複数の宛先または保存先をグループとして登録しておくことで、コピー機のADFまたは原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を一括で送信または保存できます。

- 最大で 100 件のグループを登録できます。
- 1 グループに、最大で 50 件の宛先を登録できます。
- E-mail アドレスは、1 グループに複数件を登録できます。
HDD、FTP、SMB は、1 グループに各 1 件だけを登録できます。



操作方法については、7-31 ページをごらんください。

グループの登録方法については、6-14 ページをごらんください。



5.7 ネットワークスキャナーの操作のながれ

ネットワークスキャナーの操作のながれは、以下のとおりです。

宛先を指定



- ・宛先を入力
- ・登録された宛先を指定

読み込みを設定



- ・原稿設定、画質設定、倍率設定、
読み込みサイズ、解像度、片面 / 両面、
ファイル形式
- ・ファイル名

[スタート] を押す



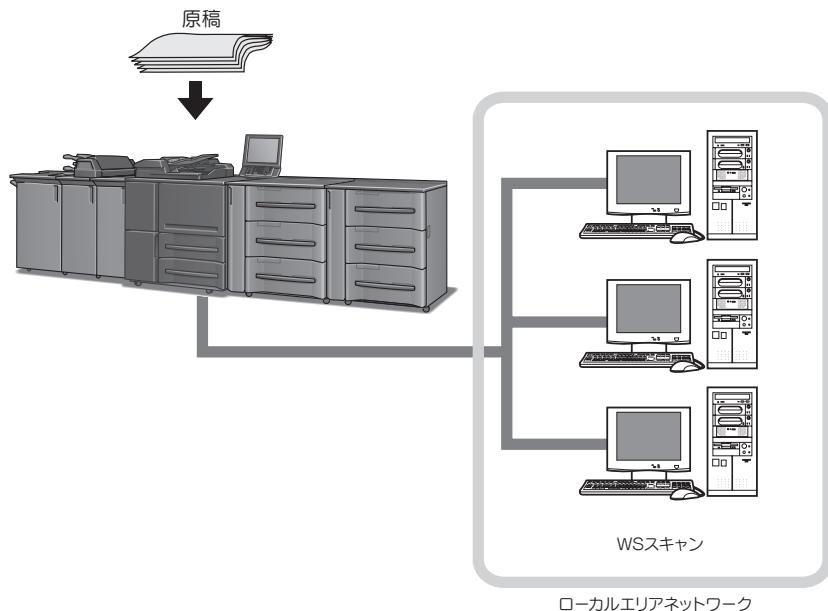
スキャンデータを送信



実際の操作手順は、「7 ネットワークスキャナー機能の実行」をごらんください。

5.8 Web サービスを使用して送信する (WS スキャン)

ネットワーク上のコンピューター (Windows Vista/7/Server 2008) から Web サービス機能を使用してスキャンを指示することで、コンピューターにスキャンデータを送信できます。



コンピューターからスキャンを指示する方法についての詳細は、7-33 ページをごらんください。
ここでは、コンピューター側であらかじめ必要となる設定について説明します。

5.8.1 Web サービスを使用するための必要な設定

Web サービスを使用するための必要な設定は、以下のとおりです。

- コンピューターに本機をインストールする
- 本機で Web サービスを行うための設定をする



本機での Web サービスの設定は、管理者設定で行います。詳しくは、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」をごらんください。

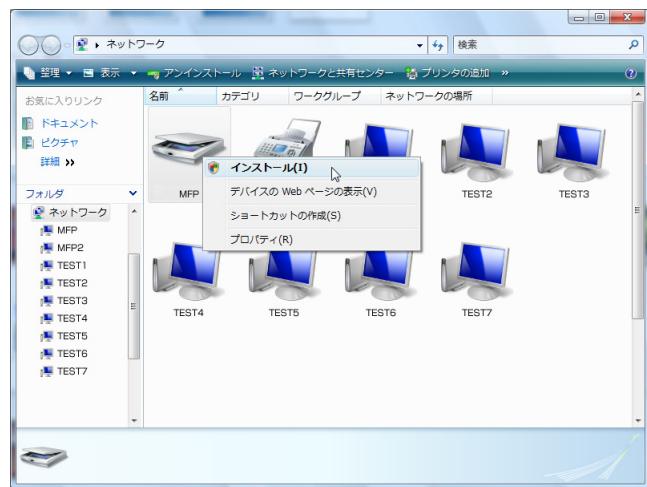
インストール前の確認

インストールの前に、[コントロールパネル] – [ネットワークと共有センター] で、[ネットワーク探索] が有効に設定されていることを確認してください。



インストール手順

- 1 [スタート] から [ネットワーク] を選択します。
- 2 本機のスキャナーアイコンを右クリックしてから、[インストール] を選択します。



- コンピューター側の設定によっては、UAC (User Account Control) 画面が表示されることがあります。内容を確認してから、続行してください。
- 本機で Web サービスのスキャン機能とプリンター機能の両方が有効に設定されているときは、本機がプリンターアイコンで表示されます。

- 3 ドライバーソフトウェアが自動的にインストールされた後、確認画面が表示されたら [閉じる] をクリックします。



コンピューターからスキャンを指示する方法についての詳細は、7-33 ページをごらんください。

6

ネットワークスキャナー機能の 宛先登録（宛先追加）

6 ネットワークスキャナー機能の宛先登録（宛先追加）

6.1 登録（追加）について

スキャンデータの宛先は、その都度入力する方法とあらかじめ登録しておいた宛先から選択する方法があります。よく送信する宛先を登録しておくと便利です。



登録方法については、下記のページをごらんください。

E-mail アドレスの登録 (p. 6-4)

ボックスの作成と登録 (p. 6-6)

FTP サーバーの登録 (p. 6-8)

SMB サーバーの登録 (p. 6-11)

グループの登録 (p. 6-14)

宛先入力画面について

宛先の登録は宛先入力画面で行います。

宛先入力画面を表示させるには、スキャン画面で【宛先入力】を押します。詳しくは、各登録の手順 1 ~ 4をごらんください。



スキャン画面：



宛先入力画面：
各項目を押して、宛先の内容を入力します。

種類	画面
E-mail	

種類	画面
HDD	
FTP	
SMB	
グループ	

⚠ 注意

- グループの宛先登録画面では、新規のグループを作成できます。グループの宛先は、既存の宛先（E-mail/HDD/FTP/SMB）から選択して登録します。

[キャンセル]	入力した内容をキャンセルして、宛先を選択する画面に戻ります。
[OK]	入力した内容を確定して、宛先を選択する画面に戻ります。

6.2 E-mail アドレスの登録

スキャンデータを E-mail の添付ファイルとして送信する機能を使用する場合、宛先の E-mail アドレスをあらかじめ登録できます。

- ✓ LDAP 検索機能で検索したアドレスを登録する方法については、3-14 ページをごらんください。
- ✓宛先は、E-mail、HDD、FTP、SMB で合計 500 件まで登録できます。

1 [スキャン] を押します。

宛先を選択する画面が表示されます。

2 [E-mail] が選択されていることを確認します。



- 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] – [スキャン設定] – [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。
- すでに E-mail アドレスが登録されているときは、登録名が表示されます。
- 初期設定では、[あ] や [か] などの索引キーが表示されています。

3 [宛先入力] を押します。

4 宛先入力画面で、必要事項を設定します。各項目を押すと文字を入力する画面が表示されます。



→ 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

[アドレス]	E-mail アドレスを 250 文字以内の英数字および記号で入力します。
[登録名]	E-mail の宛先を選択する画面に表示される登録名を、英数字、記号、カタカナ、ひらがな、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで登録できます。
[検索文字]	宛先を検索をするときのキーワードを、英数字、記号、ひらがなで設定します。半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで設定できます。

5 [登録] を押します。

6 登録した登録名が表示されることを確認します。



→ 登録名を 1 つのページに表示しきれないときは、[▼] / [▲] を押してページを切替えてください。

6.3 ボックスの作成と登録

スキャンデータをハードディスクに保存するには、ボックスを作成して宛先として登録します。

- ✓ 宛先は、E-mail、HDD、FTP、SMB で合計 500 件まで登録できます。

- 1 [スキャン] を押します。
- 2 [HDD] を押します。



- 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] — [スキャン設定] — [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。
- すでにボックス宛先が登録されているときは、登録名が表示されます。
- 初期設定では、[あ] や [か] などの索引キーが表示されています。

- 3 [宛先入力] を押します。



4 宛先入力画面で、必要事項を設定します。各項目を押すと、文字を入力する画面が表示されます。



- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。
- 本機をスキャナーとしてご使用されるときは、管理者が各ユーザーにボックスをあらかじめ割当てて、メールなどでお知らせしておくことを推奨します。
- ボックスは、各ユーザーのデータを保護する役割があります。

[ボックス No.]	ボックス作成時に登録した [ボックス No.] (000000001 ~ 999999998) を入力します。
[登録名]	ボックスを作成したときに登録した [ボックス名] を入力します。登録名を入力しないときは、ボックス No. が登録名として登録されます。
[検索文字]	宛先を検索をするときのキーワードを、英数字、記号、ひらがなで設定します。半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで設定できます。
[パスワード]	ボックスのパスワードを 8 文字以内の英数字および記号で入力します。

5 [登録] を押します。

6 登録した登録名が表示されることを確認します。



- 登録名を 1 つのページに表示しきれないときは、[▼] / [▲] を押してページを切替えてください。

6.4 FTP サーバーの登録

スキャンデータを FTP サーバーに送信する場合、宛先の FTP サーバーを登録できます。

- ✓ 宛先は、E-mail、HDD、FTP、SMB で合計 500 件まで登録できます。

1 [スキャン] を押します。

2 [FTP] を押します。



→ 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] – [スキャン設定] – [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。

→ すでに FTP サーバーが登録されているときは、登録名が表示されます。

→ 初期設定では、[あ] や [か] などの索引キーが表示されています。

3 [宛先入力] を押します。



4 宛先入力画面で、必要事項を設定します。各項目を押すと、文字を入力する画面が表示されます。



→ 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

[登録名]	FTP の宛先を選択する画面に表示される登録名を、英数字、記号、カタカナ、ひらがな、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。 半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで登録できます。
[検索文字]	宛先を検索をするときのキーワードを、英数字、記号、ひらがなで設定します。 半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで設定できます。
[ホストアドレス]	FTP サーバーのアドレスを 64 文字以内の英数字および記号で入力します。
[ファイルパス]	FTP サーバーのファイルパスを 96 文字以内の英数字および記号で入力します。
[ログイン名]	FTP サーバーのアカウントを 32 文字以内の英数字および記号で入力します。
[Anonymous]	[ログイン名] に「anonymous」と入力します。ログイン時にアカウントが不要な Anonymous FTP サーバーにログインするときに使用します。 ・一部の Anonymous FTP サーバーでは、パスワードとしてメールアドレスを用いるところもあります。
[パスワード]	FTP サーバーのパスワードを 24 文字以内の英数字および記号で入力します。 ・入力したパスワードは「*」で表示されます。

5 [登録] を押します。

6 登録した登録名が表示されることを確認します。



- 登録名を 1 つのページに表示しきれないときは、[▼] / [▲] を押してページを切替えてください。
- [ポート番号] :
FTP サーバーのポート番号を 5 桁の数字（1 ~ 65535）で設定できます。
初期設定は 21 です。通常は、変更する必要はありません。
ポート番号については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- [Firewall] :
Firewall を設定しているときは、[Firewall] を選択します。

6.5 SMB サーバーの登録

スキャンデータを SMB サーバーに送信する場合、宛先の SMB サーバーを登録できます。

- ✓ 宛先は、E-mail、HDD、FTP、SMB で合計 500 件まで登録できます。

- 1 [スキャン] を押します。
- 2 [SMB] を押します。



- 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] - [スキャン設定] - [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。
- すでに SMB サーバーが登録されているときは、登録名が表示されます。
- 初期設定では、[あ] や [か] などの索引キーが表示されています。

- 3 [宛先入力] を押します。



4 宛先入力画面で、必要事項を設定します。各項目を押すと、文字を入力する画面が表示されます。



→ 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

[登録名]	SMB の宛先を選択する画面に表示される登録名を、英数字、記号、カタカナ、ひらがな、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。 半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで登録できます。
[検索文字]	宛先を検索をするときのキーワードを、英数字、記号、ひらがなで設定します。 半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで設定できます。
[ホストアドレス]	SMB サーバーのアドレスを 64 文字以内の英数字および記号で入力します。
[ファイルパス]	SMB サーバーのファイルパスを、英数字、記号、カタカナ、ひらがな、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。 半角で 95 文字まで、全角で 45 文字まで入力できます。 ・ ファイルパスには、「共有フォルダー名」、または「共有フォルダーネーム￥サブフォルダーネーム」(区切り文字には"￥"を使用)を入力します。
[ログイン名]	SMB サーバーのアカウントを 47 文字以内の英数字、記号で入力します。
[パスワード]	SMB サーバーのパスワードを 14 文字以内の英数字および記号で入力します。 ・ 入力したパスワードは「*」で表示されます。
[ブラウジング]	ネットワーク上のブラウズリストから宛先を検索して設定できます。 ・ 詳細手順については、7-26 ページをごらんください。

5 [登録] を押します。

6 登録した登録名が表示されることを確認します。



→ 登録名を 1 つのページに表示しきれないときは、▼ / ▲ を押してページを切替えてください。

6.6 グループの登録

登録されている複数の宛先を、グループとして登録できます。

- ✓ 最大で 100 件のグループを登録できます。
- ✓ 1 グループに、最大で 50 件の宛先を登録できます。
- ✓ E-mail アドレスは、1 グループに複数件を登録できます。
HDD、FTP、SMB は、1 グループに各 1 件だけを登録できます。

- 1 [スキャン] を押します。
- 2 [グループ] を押します。



- 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] - [スキャン設定] - [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。
- すでにグループが登録されているときは、登録名が表示されます。

- 3 [登録] を押します。



4 [グループ名] を押してから、文字を入力する画面でグループ名を入力します。



- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。
- グループ名は登録後、グループの宛先を選択する画面で表示される登録名です。

[グループ名]	グループの宛先を選択する画面に表示される登録名を、英数字、記号、カタカナ、ひらがな、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。 半角で 24 文字まで、全角で 12 文字まで登録できます。
---------	--

5 グループに登録する宛先を必要なだけ選択します。



- [E-mail]、[HDD]、[FTP]、[SMB] キーを押すと、各々に登録された登録名が表示されます。
- 登録名を 1 つのページに表示しきれないときは、[▼] / [▲] を押してページを切替えてください。
- 1 グループに、最大で 50 件の宛先を登録できます。
E-mail アドレスは、1 グループに複数件を登録できます。
HDD、FTP、SMB は、1 グループに各 1 件だけを登録できます。

6 [一覧] を押します。

登録中の宛先の一覧が表示されます。

7 登録内容を確認してから、[OK] を押します。



8 [OK] を押します。

9 登録した登録名が表示されることを確認します。



6.7 宛先の変更 / 削除について

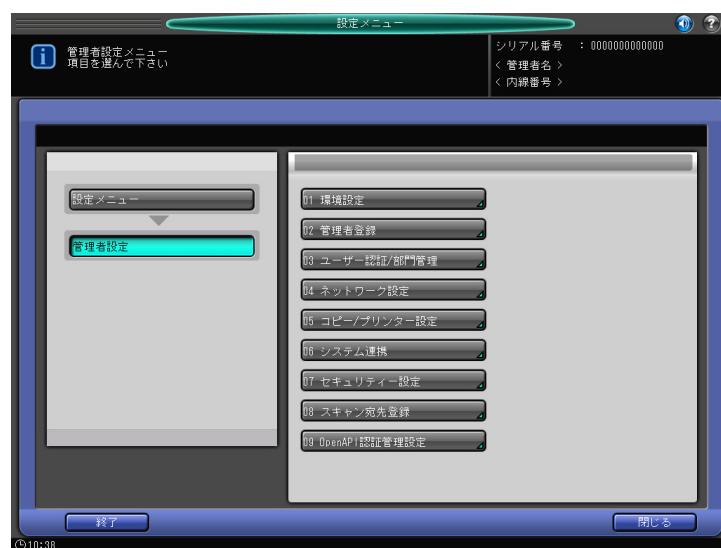
登録した宛先を、設定メニュー画面の管理者設定で変更および削除ができます。

登録内容の変更

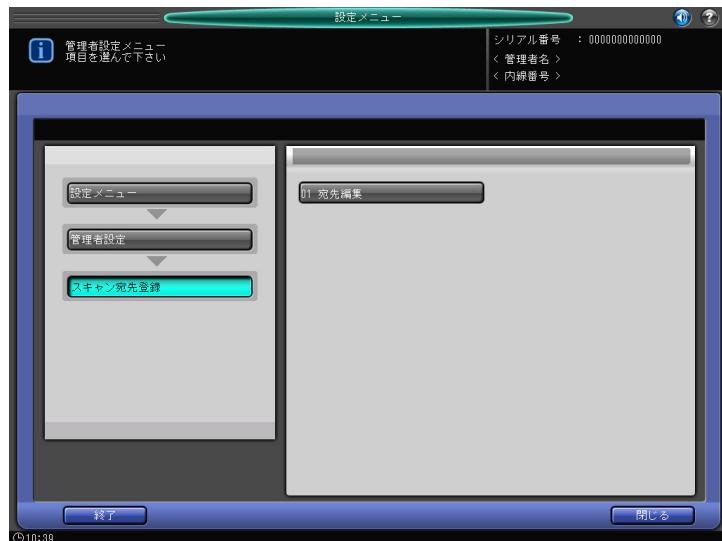
- [設定メニュー / カウンター] を押します。
- [管理者設定] を押します。



- [スキャン宛先登録] を押します。



4 [宛先編集] を押します。



5 [E-mail]、[HDD]、[FTP]、[SMB]、または [グループ] を押してから、登録内容を変更したい宛先を表示します。



6 変更したい宛先を選択してから、[変更] を押します。

7 変更したい項目を選択します。



8 変更内容を入力してから、[OK] を押します。

9 [OK] を押します。

登録内容が変更されます。

10 [前画面] を押します。

11 [終了] を押して、設定メニュー画面を閉じます。

宛先を選択する画面に戻ります。

登録内容の削除

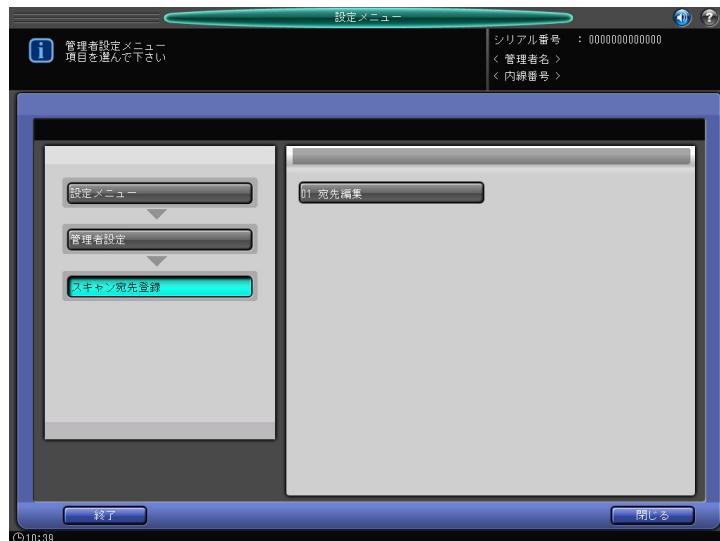
- [設定メニュー / カウンター] を押します。
- [管理者設定] を押します。



- [スキャン宛先登録] を押します。



4 [宛先編集] を押します。



5 [E-mail]、[HDD]、[FTP]、[SMB]、または [グループ] を押してから、登録内容を削除したい宛先を表示します。



6 削除したい宛先を選択してから、[削除] を押します。

7 [はい] を押します。



→ 削除しないときは、[いいえ] を押します。

8 宛先が削除されたことを確認してから、[前画面] を押します。

9 [終了] を押して、設定メニュー画面を閉じます。

宛先を選択する画面に戻ります。

7

ネットワークスキャナー機能の 実行

7 ネットワークスキャナー機能の実行

7.1 宛先選択画面のキーについて

スキャンするには、スキャンデータの宛先を選択する必要があります。ここでは、宛先を選択する画面のボタンについて説明します。



宛先を選択する画面の表示方法は、各送信の手順 1～2 をごらんください。

E-mail アドレスへの送信 (p. 7-4)

ハードディスクへの保存 (p. 7-9)

FTP サーバーへの送信 (p. 7-14)

SMB サーバーへの送信 (p. 7-20)

グループへの送信 (p. 7-31)

Web サービスを使用した送信 (WS スキャン) (p. 7-33)



[50 音]

ひらがなの五十音の行ごとに、宛先を表示します。
登録した検索文字の頭文字で、五十音のそれぞれの行に分けて表示します。

[母音切替]

[50 音] が選択されているときに表示されます。
選択されている索引タブを母音順に切替えます。
切替わった索引タブと同じ頭文字の検索文字を持つ宛先を表示します。
例) 索引タブ [か] が選択されている状態でこのボタンを押すと、
[か] → [き] → [く] → [け] → [こ] と切替わります

[英数字]

検索文字の頭文字が英数字である宛先を表示します。

[その他]

検索文字の頭文字が記号である宛先を表示します。
検索文字が登録されていない宛先も表示します。

[常用]

常用する宛先として登録した宛先だけを表示します。
常用の登録は、コピー機の管理者がします。
詳しくは、コピー機の管理者にお問い合わせください。



宛先を表示するページを切替えます。
ボタンを押したままにすると、ページが連続して切替わります。

[検索]

検索文字を入力する画面を表示します。
検索方法について詳しくは、3-10 ページをごらんください。

[宛先入力]	宛先入力画面を表示します。
[全宛先解除]	送信先として選択したすべての宛先を、選択から除外します。
[読み込み設定]	スキャンの設定をする画面を表示します。

グループの宛先を選択する画面には、[宛先入力]、[検索]、[50 音]、[英数字]、[その他]、[常用] がありません。

7.2 E-mail アドレスへの送信

スキャンデータを E-mail の添付ファイルとして送信する場合、E-mail アドレスをあらかじめ登録しておいて送信するときと、E-mail アドレスを手動で入力して送信するときとでは、手順が異なります。



LDAP 機能で検索したアドレスに送信する方法については 3-14 ページをごらんください。

それぞれ次のページをごらんください。

メールアドレスが登録されている場合 : 7-4 ページ

メールアドレスを手動入力する場合 : 7-7 ページ

E-mail アドレスへの送信には、管理者の E-mail アドレスの設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」の「管理者登録」をごらんください。

設定メニュー画面の「管理者設定」 - 「管理者登録」の「E-mail アドレス設定」で設定したメールアドレスが、From のアドレスとして使用されます。詳しくは、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」の「管理者登録」をごらんください。

メールアドレスが登録されている場合

- 1 [スキャン] を押します。
- 2 [E-mail] が選択されていることを確認します。



→ 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] - [スキャン設定] - [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。

- 3 E-mail に表題を設定するときは、[表題設定] を押した後、[1] ~ [5] のいずれかまたは [手動設定] を押してから、表題を設定して [OK] を押します。



- [1] ~ [5] のいずれかを押すと、定型の表題を使用できます。
定型の表題は、[設定メニュー / カウンター] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [コントローラー NIC 設定] - [E-mail 設定] で設定できます。
詳しくは、9-6 ページをごらんください。
半角で 64 文字まで、全角で 32 文字まで登録できます。
- [手動設定] を押すと、手動で表題を入力できます。
文字を入力する画面が表示されてから、入力します。
半角で 20 文字まで、全角で 10 文字まで登録できます。
- 英数字、記号、ひらがな、カタカナ、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。
文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

- 4 E-mail に本文を設定するときは、[本文設定] を押した後、[1] ~ [5] のいずれかまたは [手動設定] を押してから、本文を設定して [OK] を押します。



- [1] ~ [5] のいずれかを押すと、定型の本文を使用できます。
定型の本文は、[設定メニュー / カウンター] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [コントローラー NIC 設定] - [E-mail 設定] で設定できます。
詳しくは、9-6 ページをごらんください。
半角で 256 文字まで、全角で 128 文字まで登録できます。
- [手動設定] を押すと、手動で本文を入力できます。
文字を入力する画面が表示されてから、入力します。
半角で 256 文字まで、全角で 128 文字まで登録できます。
- 英数字、記号、ひらがな、カタカナ、S-JIS 第 2 水準までの漢字で入力します。
文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

5 送信する E-mail の宛先を押します。



- 選択された宛先は、画面左側の「[送信一覧]」に表示されます。
- 検索を利用して、登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
- [50 音] を使用して、登録名を絞り込むことができます。[50 音] の機能について詳しくは、7-2 ページをごらんください。
- 宛先の選択を解除するには、選択されている宛先をもう一度押します。
- アドレスを手動で入力するときは、7-7 ページをごらんください。

6 [読み込み設定] を押します。

スキャン設定の基本画面が表示されます。

7 必要な設定を行います。



- スキャン設定の基本画面の設定について詳しくは、7-35 ページをごらんください。
- [「ファイル名」] を押すと、添付ファイルのファイル名を指定できます。

8 原稿をセットしてから、[スタート] を押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが送信されます。

→ E-mail によるスキャンデータの送信は、SMTP サーバーへ送信するものです。

→ [宛先] を押すと、宛先を選択する画面に戻ります。

→ スキャン設定の基本画面で行った設定と、宛先を選択する画面で行った選択は、再起動するまで残ることがあります。操作が終了したら、設定と宛先を解除することを推奨します。

スキャン設定の基本画面で、操作パネルの [リセット] を押すと、設定を解除できます。また、[宛先] を押して宛先を選択する画面に戻ってから [全宛先解除] を、もしくは操作パネルの [リセット] を押すと、宛先を解除できます。

メールアドレスを手動入力する場合

1 「メールアドレスが登録されている場合」(p. 7-4) の手順 1 ~ 4 を行います。

2 [宛先入力] を押します。



→ 登録されている宛先を選択するときは、7-4 ページをごらんください。

3 [アドレス] を押した後、アドレスを入力してから [OK] を押します。



→ [アドレス] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。

→ 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

→ [登録] を押すと、入力したアドレスを登録できます。

4 [読み込み設定] を押します。



5 「メールアドレスが登録されている場合」(p. 7-4) の手順 7 以降を行います。

7.3 ハードディスクへの保存

スキャンデータをハードディスクに保存する場合、ボックスの宛先があらかじめ登録されているときと登録されていないときとでは、手順が異なります。



それぞれ次のページをごらんください。

ボックス宛先が登録されている場合：7-9 ページ

ボックス宛先が登録されていない場合：7-12 ページ

ボックス宛先が登録されている場合

1 [スキャン] を押します。

2 [HDD] を押します。



- 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] – [スキャン設定] – [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。

3 保存先にするボックスの宛先を押します。



- 選択された宛先は、画面左側の【送信一覧】に表示されます。
- 検索を利用して登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、3-10ページをごらんください。
- [50 音] を使用して、宛先を絞り込むことができます。[50 音] の機能について詳しくは、7-2 ページをごらんください。
- 宛先の選択を解除するには、選択されている宛先をもう一度押します。
- 保存先にするボックスを登録していないときは、あらたにボックスを登録してください。ボックスの登録方法は、7-12ページをごらんください。

4 [読み込み設定] を押します。



5 ボックスにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してから [OK] を押します。



6 必要な設定を行います。



- スキャン設定の基本画面の設定について詳しくは、7-35 ページをごらんください。
- [ファイル名] を押すと、ファイル名を指定できます。

7 原稿をセットしてから、[スタート] を押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが保存されます。

- [宛先] を押すと、宛先を選択する画面に戻ります。
- ハードディスクに保存したスキャンデータをコンピューターに取込む方法は、HDD TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。
- スキャン設定の基本画面で行った設定と、宛先を選択する画面で選択した宛先は、再起動するまで残ります。操作が終了したら、設定と宛先を解除することを推奨します。
- スキャン設定の基本画面で、操作パネルの [リセット] を押すと、設定を解除できます。また、[宛先] を押して宛先を選択する画面に戻ってから [全宛先解除] を、もしくは操作パネルの [リセット] を押すと、宛先を解除できます。

ボックス宛先が登録されていない場合

- 1 「ボックス宛先が登録されている場合」(p. 7-9) の手順 1 ~ 2 を行います。
- 2 [宛先入力] を押します。



→ 登録されている宛先を選択するときは、7-9 ページをごらんください。

- 3 [ボックス No.] を押します。



4 ボックス No. を入力してから、[OK] を押します。



→ [ボックス No.] を必ず控えておいてください。コンピューターからスキャンデータを取込むときに必要になります。

5 [読み込み設定] を押します。



→ [登録] を押すと、入力したボックスを登録できます。

6 「ボックス宛先が登録されている場合」(p. 7-9) の手順 6 以降を行います。

7.4 FTP サーバーへの送信

スキャンデータを FTP サーバーに送信する場合、FTP サーバーの宛先をあらかじめ登録しておくときと手動で入力するときでは、手順が異なります。



それぞれ次のページをごらんください。
 FTP サーバーが登録されている場合 : 7-14 ページ
 FTP サーバーを手動入力する場合 : 7-16 ページ

FTP サーバーが登録されている場合

1 [スキャン] を押します。

2 [FTP] を押します。



→ 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] - [スキャン設定] - [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。

3 送信先にする FTP サーバーの宛先を押します。



- 必要に応じて [ポート番号] および [Firewall] を設定します。
- 選択された宛先は、画面左側の [送信一覧] に表示されます。
- 検索を利用して、登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
- [50 音] を使用して、宛先を絞り込むことができます。[50 音] の機能について詳しくは、7-2 ページをごらんください。
- 宛先の選択を解除するには、選択されている宛先をもう一度押します。
- アドレスを手動入力するときは、7-16 ページをごらんください。

4 [読み込み設定] を押します。



5 必要な設定を行います。



- スキャン設定の基本画面の設定について詳しくは、7-35 ページをごらんください。
- [ファイル名] を押すと、ファイル名を指定できます。

6 原稿をセットしてから、[スタート] を押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが保存されます。

- [宛先] を押すと、宛先を選択する画面に戻ります。

- スキャン設定の基本画面で行った設定と、宛先を選択する画面で選択した宛先は、再起動するまで残ることがあります。操作が終了したら、設定と宛先を解除することを推奨します。

スキャン設定の基本画面で、操作パネルの [リセット] を押すと、設定を解除できます。また、[宛先] を押して宛先を選択する画面に戻ってから [全宛先解除] を、もしくは操作パネルの [リセット] を押すと、宛先を解除できます。

FTP サーバーを手動入力する場合

- 1 「FTP サーバーが登録されている場合」(p. 7-14) の手順 1 ~ 2 を行います。
- 2 [宛先入力] を押します。



- 必要に応じて [ポート番号] および [Firewall] を設定します。
- 登録されている宛先を選択するときは、7-14 ページをごらんください。

- 3 [登録名] を押してから、登録名を入力します。



- [検索文字] は登録名と同じものが自動的に入力されます。変更したいときは、[検索文字] を押してから、入力しなおしてください。

4 [ホストアドレス] を押してから、ホストアドレスを入力します。



- [ホストアドレス] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

5 [ファイルパス] を押してから、ファイルパスを入力します。



- [ファイルパス] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

6 [ログイン名] を押してから、ログイン名を入力します。



- [ログイン名] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。
- [Anonymous] を押すと、[ログイン名] に「anonymous」と入力されます。anonymous FTP（不特定多数のユーザーがファイルを共有するための FTP）を使用するとき、使用できます。

7 [パスワード] を押してから、パスワードを入力します。



- [パスワード] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

8 [読み込み設定] を押します。



→ [登録] を押すと、入力した FTP サーバーを登録できます。

9 「FTP サーバーが登録されている場合」(p. 7-9) の手順 5 以降を行います。

7.5 SMB サーバーへの送信

スキャンデータを SMB サーバーに送信する場合、SMB サーバーをあらかじめ登録しておくときと手動で入力するときでは、手順が異なります。



それぞれ次のページをごらんください。

SMB サーバーが登録されている場合 : 7-20 ページ

SMB サーバーを手動入力する場合 : 7-22 ページ

SMB サーバーが登録されている場合

1 [スキャン] を押します。

2 [SMB] を押します。



→ 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] — [スキャン設定] — [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。

3 送信先にする SMB サーバーの宛先を押します。



- 選択された宛先は、画面左側の【送信一覧】に表示されます。
- 検索を利用して、登録された宛先を絞り込むことができます。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
- [50 音] を使用して、宛先を絞り込むことができます。[50 音] の機能について詳しくは、7-2 ページをごらんください。
- 宛先の選択を解除するには、選択されている宛先をもう一度押します。
- アドレスを手動で入力するときは、7-22 ページをごらんください。

4 [読み込み設定] を押します。



5 必要な設定を行います。



- スキャン設定の基本画面の設定について詳しくは、7-35 ページをごらんください。
- [ファイル名] を押すと、ファイル名を指定できます。

6 原稿をセットしてから、[スタート] を押します。

スキャンが開始され、選択した宛先にスキャンデータが保存されます。

- [宛先] を押すと、宛先を選択する画面に戻ります。
- スキャン設定の基本画面で行った設定と、宛先を選択する画面で選択した宛先は、再起動するまで残ることができます。操作が終了したら、設定と宛先を解除することを推奨します。
- スキャン設定の基本画面で、操作パネルの [リセット] を押すと、設定を解除できます。また、[宛先] を押して宛先を選択する画面に戻ってから [全宛先解除] を、もしくは操作パネルの [リセット] を押すと、宛先を解除できます。

SMB サーバーを手動入力する場合

- 1 「SMB サーバーが登録されている場合」(p. 7-20) の手順 1 ~ 2 を行います。
- 2 [宛先入力] を押します。



→ 登録されている宛先を選択するときは、7-20 ページをごらんください。
宛先を手動で入力する画面が表示されます。

- 3 [登録名] を押してから、登録名を入力します。



→ [検索文字] は登録名と同じものが自動的に入力されます。変更したいときは、[検索文字] を押してから、入力しなおしてください。
→ 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

4 [ホストアドレス] を押してから、ホストアドレスを入力します。



- [ホストアドレス] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
 → 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

5 [ファイルパス] を押してから、ファイルパスを入力します。



- [ファイルパス] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
 → 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

6 [ログイン名] を押してから、ログイン名を入力します。



- [ログイン名] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

7 [パスワード] を押してから、パスワードを入力します。



- [パスワード] を押すと、文字を入力する画面が表示されます。
- 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
- [登録] を押すと、入力した SMB サーバーを登録できます。
- [ブラウジング] を押すと、ネットワーク上のブラウズリストで宛先を検索して、宛先に設定できます。詳しくは、7-26 ページをごらんください。

8 [読み込み設定] を押します。



9 「SMB サーバーが登録されている場合」(p. 7-20) の手順 5 以降を行います。

SMB サーバーをブラウズリストから検索する場合

- 1 「SMB サーバーが登録されている場合」(p. 7-20) の手順 1 ~ 2 を行います。
- 2 [宛先入力] を押します。



→ 登録されている宛先を選択するときは、7-20 ページをごらんください。
宛先を手動で入力する画面が表示されます。

- 3 [登録名] を押してから、登録名を入力します。



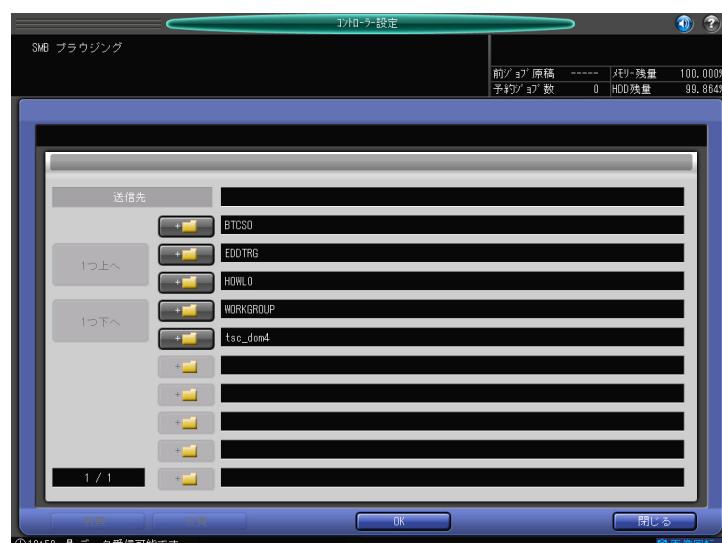
→ [検索文字] は登録名と同じものが自動的に入力されます。変更したいときは、[検索文字] を押してから、入力しなおしてください。
→ 文字の入力方法について詳しくは、3-6 ページをごらんください。

4 [ブラウジング] を押します。



→ [ブラウジング] を押すと、ネットワークのブラウズリストが表示されます。

5 ワークグループ名を選択してから、[1つ下へ] を押します。



→ リストが複数ページあるときは、[前頁] および [次頁] を押してページを移動できます。
→ 最大で 512 個のワークグループを表示できます。

6 コンピューター名を選択してから、[1つ下へ] を押します。



- リストが複数ページあるときは、[前頁] および [次頁] を押してページを移動できます。
- [1つ上へ] を押すと、上位の階層へ移動します。
- 最大で 512 個のコンピューターを表示できます。

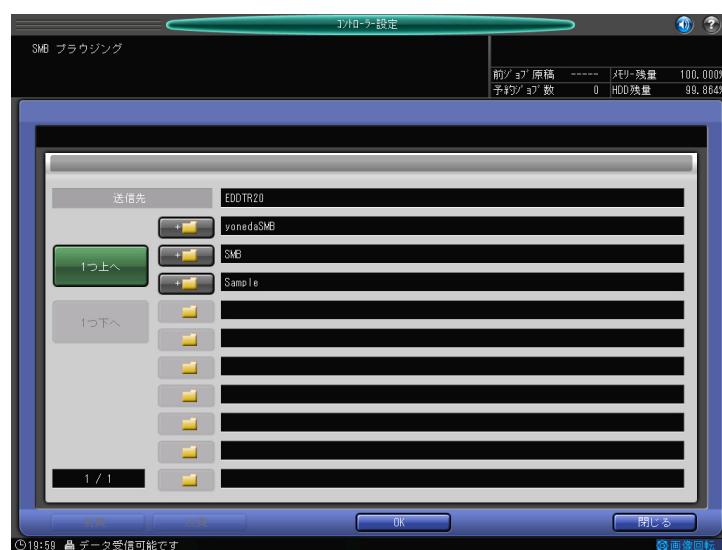
7 認証画面が表示されるので、ログイン名とパスワードそれぞれの [変更] を押してから、認証情報を入力します。



8 [ログイン] を押します。



9 宛先のフォルダーを選択してから、[OK] を押します。



- [1つ上へ] を押すと、上位の階層へ移動します。
- 最大で 256 個までのフォルダーを表示できます。
- ファイルパスは、半角で 96 文字まで全角で 48 文字まで設定できます。

10 [読み込み設定] を押します。



11 「SMB サーバーが登録されている場合」(p. 7-20) の手順 5 以降を行います。

7.6 グループへの送信

登録されたグループにスキャンデータを送信するときは、次の手順で行います。

- ✓ グループの登録について詳しくは、6-14 ページをごらんください。

- 1 [スキャン] を押します。
- 2 [グループ] を押します。



→ 初期設定では、[E-mail] が選択されています。スキャン画面のデフォルトの宛先タブは、[設定メニュー / カウンター] – [スキャン設定] – [デフォルト宛先設定] で設定できます。詳しくは、9-3 ページをごらんください。

- 3 送信先にするグループの宛先を押します。



→ 選択された宛先は、画面左側の [送信一覧] に表示されます。
 → 登録名の選択を解除するには、選択されている登録名をもう一度押します。
 → [一覧] を押してからグループを選択すると、グループの宛先を一覧で表示できます。
 グループの宛先一覧画面で [編集] を押すと、グループに登録する宛先を変更できます。

4 [読み込み設定] を押します。



5 必要な設定を行います。



- スキャン設定の基本画面の設定について詳しくは、7-35 ページをごらんください。
- [ファイル名] を押すと、ファイル名を指定できます。

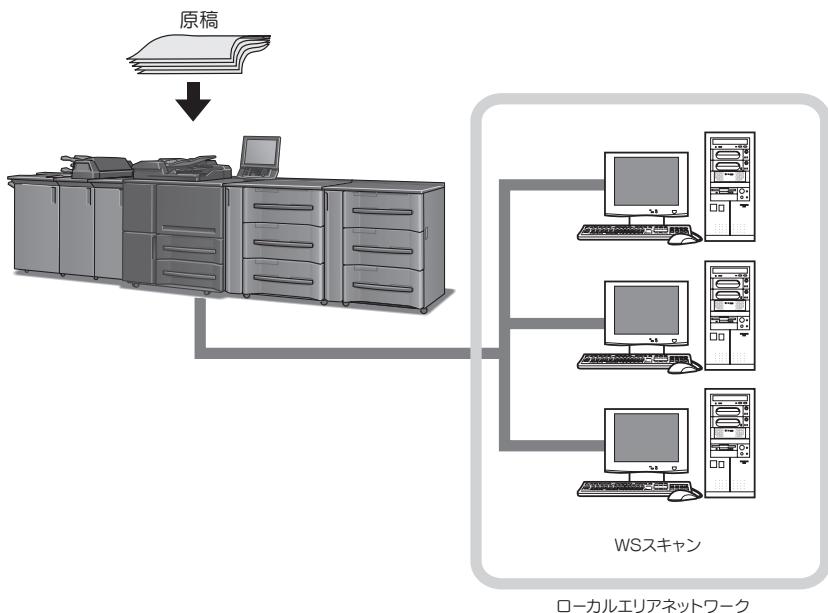
6 原稿をセットしてから、[スタート] を押します。

スキャンが開始されて、選択した宛先にスキャンデータが保存されます。

- [宛先] を押すと、宛先を選択する画面に戻ります。

7.7 Web サービスを使用した送信 (WS スキャン)

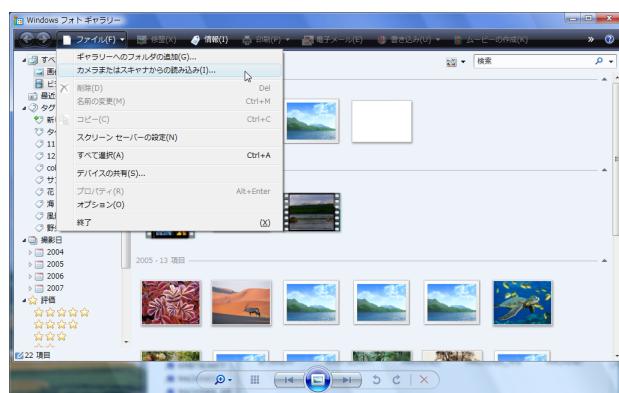
ネットワーク上のコンピューターに本機がインストールされていると、コンピューターからスキャンの指示を本機に行って、スキャンしたデータを受信できます。



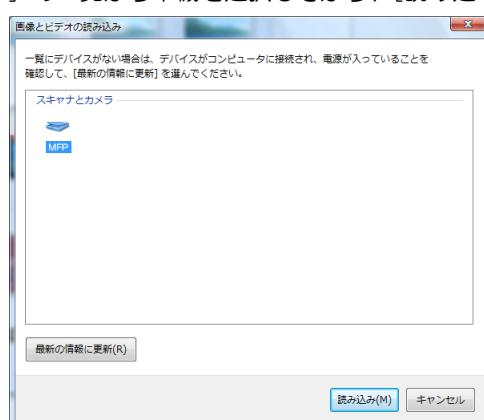
ここでは、Windows フォトギャラリーからスキャンする手順を例に説明します。

- ✓ あらかじめ必要な設定については、5-10 ページをごらんください。

- 1 スキャンを行えるアプリケーションソフトを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [カメラまたはスキャナからの読み込み] を選択します。

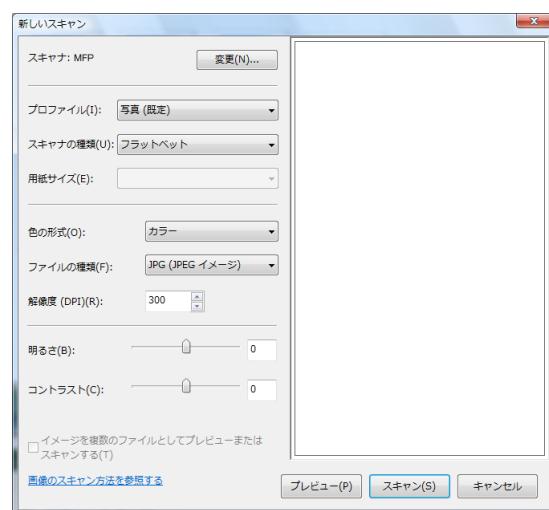


- 3 [スキャナとカメラ] の一覧から本機を選択してから、[読み込み] をクリックします。



[新しいスキャン] ウィンドウが起動します。

- 4 本機に原稿をセットします。
- 5 スキャンの内容を設定してから、[スキャン] をクリックします。

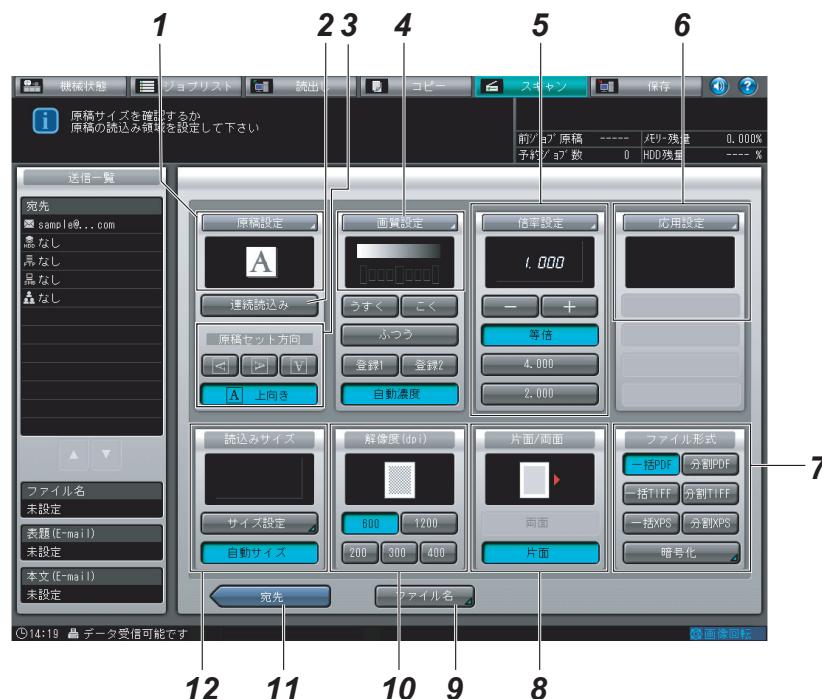


- 6 保存するファイルのファイル名を [これらの画像をマーク] に入力してから、[読み込み] をクリックします。

スキャンが行われ、スキャンしたデータが画像の一覧に追加されます。

7.8 スキャン設定基本画面について

宛先を選択する画面で「読み込み設定」を押すと、スキャン設定の基本画面が表示されます。スキャン設定の基本画面では、原稿設定や画質設定など、さまざまな設定ができます。



番号	名称	説明	参照ページ
1	[原稿設定]	原稿の向きやとじる方向など、原稿にかんするさまざまな設定ができます。	p. 7-36
2	[連続読み込み]	ADFで送ることのできない複数枚の原稿を、原稿ガラスを使って読みることができます。	
3	[原稿セット方向]	セットする原稿の方向を指定します。	
4	[画質設定]	読み込みの濃度を9段階で指定します。 読み込みの濃度を登録しておいて、[登録1]および[登録2]を押して呼出せます。	p. 7-37
5	[倍率設定]	スキャン倍率にかんするさまざまな設定ができます。 倍率を変更するには、設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。	p. 7-38
	[+]、[-]	スキャンする倍率を設定します。	
	[等倍]	スキャンする倍率を等倍に設定します。	
	[4.00]、[2.00]	本機で登録されている倍率を指定できます。	
6	[応用設定]	ページ編集、または画像処理についてのさまざまな応用機能を設定できます。	p. 7-39
7	[ファイル形式]	スキャンするファイル形式を指定できます。 ・[一括PDF] / [分割PDF] ・[一括TIFF] / [分割TIFF] ・[一括XPS] / [分割XPS] ・[暗号化] ファイル形式でPDFを選択しているときは、[暗号化]を押してからパスワードを設定できます。	p. 7-40
8	[片面 / 両面]	[初期設定(読み込み設定)]画面で[ADF]を設定しているときに、原稿の両面をスキャンできます。 [初期設定(読み込み設定)]画面は、[設定メニュー / カウンター] - [スキャン設定] - [初期設定(読み込み設定)]を押して表示できます。	p. 7-41

番号	名称	説明	参照ページ
9	[ファイル名]	これからスキャンするデータに付けるファイル名を入力できます。ここでファイル名を入力しなかったときは、あらかじめ設定された文字列と、年月日時分、連番とを組合せたファイル名が自動で付加されます。自動付加する文字列は、[機械状態] 画面の [コントローラー設定] - [スキャン設定] - [ファイル名] で設定します。	
10	[解像度 (dpi)]	スキャンするときの解像度を指定します。	p. 7-41
11	[宛先]	指定した宛先が表示されます。[宛先] を押すと宛先を選択する画面に戻ってから、宛先を変更できます。	
12	[読み込みサイズ]	読み込みサイズを設定できます。 [サイズ設定] 定形サイズを指定、または読み込みサイズを入力できます。 [自動サイズ] 自動的に読み込みサイズを検知してスキャンします。	p. 7-41
	[標準復帰]	初期設定に戻すときに、このボタンを押します。原稿設定画面と画質設定画面で表示されます。	

原稿設定



[原稿設定] では、以下の機能を設定できます。

- 原稿セット方向
 - 上向き、左向き、下向き、右向き
- 両面とじ方向
 - 左右とじ、上とじ
- 特殊原稿
 - 普通原稿、混載原稿、Z折れ原稿、1枚送り
- [標準復帰]
 - 初期設定の値に戻します。



[原稿設定] についての詳細は、ユーザーズガイド（コピー編）をごらんください。

画質設定



[画質設定] では、以下の機能を設定できます。

- 濃度設定
- -4 ~ +4
- 下地調整
- -4 ~ +4
- 原稿画質
- 文字 / 写真、薄文字、写真、文字
- 文字 / 写真判別
- -4 ~ +4
- シャープネス
- -4 ~ +4
- [標準復帰]
- 初期設定の値に戻します。



[画質設定] についての詳細は、ユーザーズガイド（コピー編）をごらんください。

倍率設定



[倍率設定] では、以下の機能を設定できます。

- 等倍
- タテ / ヨコズーム
- タテズーム
- ヨコズーム
- 拡大
 - A5 -> A3、A4 -> A3/B5 -> B4、A4 -> B4、B4 -> A3/B5 -> A4
- 縮小
 - A4 -> B5/A3 -> B4、B4 -> A4、A3 -> A4/B4 -> B5、A3 -> A5
- 登録倍率
 - 4.000、2.000、0.500

倍率変更を有効にするには、設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



[倍率設定] についての詳細は、ユーザーズガイド（コピー編）をごらんください。

応用設定



[応用設定] では、以下の機能を設定できます。

- ページ編集
 - インターシート、章分け、集約、小冊子、差込みページ、ブック連写、プログラムジョブ
- 画像応用
 - 原稿外消去、ネガポジ反転、リピート、枠 / 折り目消し、センタリング、全面画像、とじしろ、スタンプ / オーバーレイ



[応用設定] についての詳細は、ユーザーズガイド（コピー編）をごらんください。

応用設定 - 枠 / 折り目消し



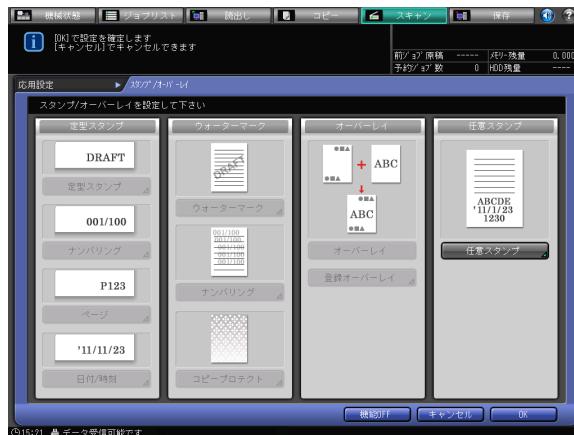
[枠 / 折り目消し] では、以下の機能を設定できます。

- 機能選択
 - 一括枠消し、個別枠消し、折り目消し
- 消し幅設定
 - 枠消し、折り目消し、上辺、右辺、下辺、左辺
- しおり
- 機能 OFF



[枠 / 折り目消し] についての詳細は、ユーザーズガイド（コピー編）をごらんください。

応用設定 - スタンプ / オーバーレイ



[スタンプ / オーバーレイ] では、以下の機能を設定できます。

- 定型スタンプ
 - 定型スタンプ、ナンバリング、ページ、日付 / 時刻
- ウォーターマーク
 - ウォーターマーク、ナンバリング、コピープロテクト
- オーバーレイ
 - オーバーレイ、登録オーバーレイ
- 任意スタンプ
- 機能 OFF



[スタンプ / オーバーレイ] についての詳細は、ユーザーズガイド（コピー編）をごらんください。

ファイル形式

[ファイル形式] では、以下のファイル形式を選択できます。

- 一括 PDF、分割 PDF
- 一括 TIFF、分割 TIFF
- 一括 XPS、分割 XPS
- 暗号化 (PDF)



片面 / 両面

片面印刷、両面印刷を選択できます。

[両面] を選択できないときは、ADF に原稿をセットしてください。

ADF に原稿をセットしていない状態で [両面] を選択できるようにしたいときは、[初期設定 (読み込み設定)] 画面で [ADF] を押してから、[OK] を押します。

[初期設定 (読み込み設定)] 画面は、[設定メニュー / カウンター] - [スキャン設定] - [初期設定 (読み込み設定)] を押して表示できます。



[片面 / 両面] についての詳細は、ユーザーズガイド (コピー編) をごらんください。

解像度 (dpi)

[解像度 (dpi)] では、以下の解像度を選択できます。

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpi

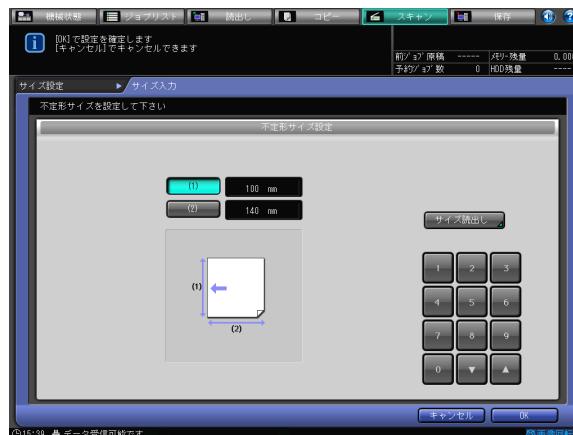
読み込みサイズ

[読み込みサイズ] では、以下の設定ができます。

サイズ設定



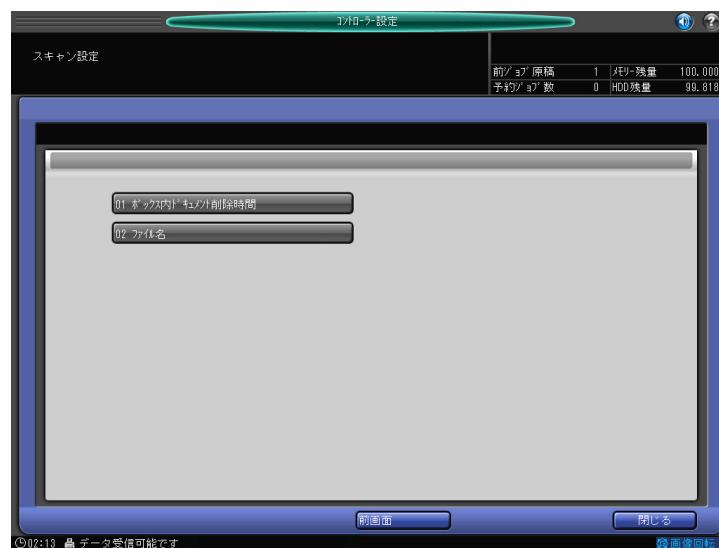
- A3□、A4□、A4□、A5□、B4□、B5□、B5□、はがき、11 x 17□、8.5 x 14□、8.5 x 11□、8.5 x 11□、5.5 x 8.5□、全面
- サイズ入力



[読み込みサイズ] についての詳細は、ユーザーズガイド (コピー編) をごらんください。

7.9 コントローラーのスキャン設定について

【機械状態】画面から【コントローラー設定】 - 【スキャン設定】を押して表示されるスキャン設定画面で、以下の設定ができます。



名称	説明	参照ページ
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内に保存したデータを、自動的に削除する時間を設定できます。	p. 7-43
ファイル名	ファイル名に自動的に付加する文字列を設定します。ファイル名は、ここで設定した文字列と、年月日時分、連番とを組合せて生成されます。	p. 7-43

7.9.1 ボックス内ドキュメント削除時間

ボックス内に保存したデータを自動的に削除する時間を設定できます。



設定値	削除しない、12時間、1日、2日、3日、7日、30日
-----	----------------------------

7.9.2 ファイル名

ファイル名に自動的に付加する文字列を設定します。ファイル名は、ここで設定した文字列と、年月日時分、連番などを組合せて生成されます。



7.10 ジョブの確認

本機を使ってスキャンしたジョブは、[ジョブリスト] 画面で確認できます。

7.10.1 ジョブリスト画面を表示するには

- [ジョブリスト] を押します。



- [ジョブリスト] 画面で、ジョブを確認します。



→ [ジョブリスト] 画面では、以下の操作を行えます。

[ジョブ]	動作中のジョブおよび保留中のジョブを表示します。
[スケジュール]	スプール中のジョブを表示します。
[出力履歴]	出力済みのジョブを表示します。
[送信履歴]	送信済みのジョブを表示します。
[未出力履歴]	未出力のジョブを表示します。
[展開状況]	スプール中のジョブを出力する順序を操作できます。
[詳細]	選択したジョブの詳細情報を表示します。
[優先出力]	選択したジョブを優先的に出力します。
[予約順序]	予約したジョブを出力する順序を設定します。
[保留]	動作中のジョブを保留ジョブとして設定します。

[削除]	選択したジョブを削除します。
[チケット編集]	ジョブチケットを編集します。
[保留解除]	保留ジョブを解除します。
[一括解除]	保留ジョブを一括解除します。

8

機密フォルダーについて

8 機密フォルダーについて

コンピューターからセキュリティープリント機能を設定して送信されたプリントジョブは、機密フォルダーに保存されます。

機密フォルダー内のプリントジョブは、コピー機の操作パネルで [ユーザー ID] と [パスワード] を入力するまで、印刷されません。



セキュリティープリント機能については、「ユーザーズガイド（プリンター編）」をごらんください。

8.1 ボックスを作成する（機密フォルダー）

セキュリティープリントが設定されたプリントジョブがイメージコントローラーから送信されると、機密フォルダーのボックスに保存されます。ボックスを作成する手順は、次のとおりです。

1 [読み出し] を押します。



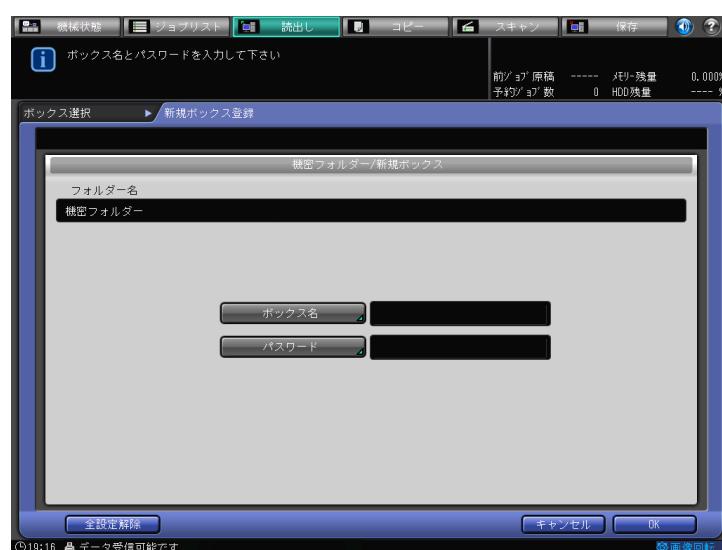
2 [機密フォルダー] を押します。



3 [新規ボックス] を押します。



4 [ボックス名] を押します。

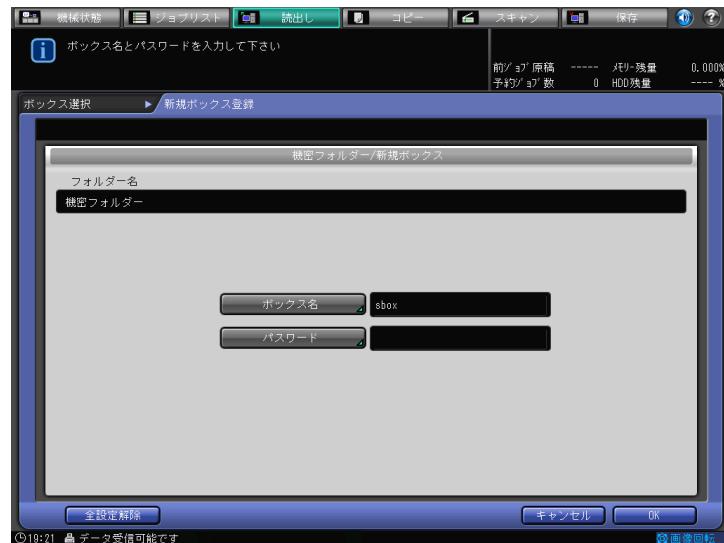


5 ボックス名を入力してから、[OK] を押します。



- 機密ボックス名は重複して使用できません。
- 機密ボックス名は半角 8 文字（全角 4 文字）の英数字で入力します。

6 [パスワード] を押します。

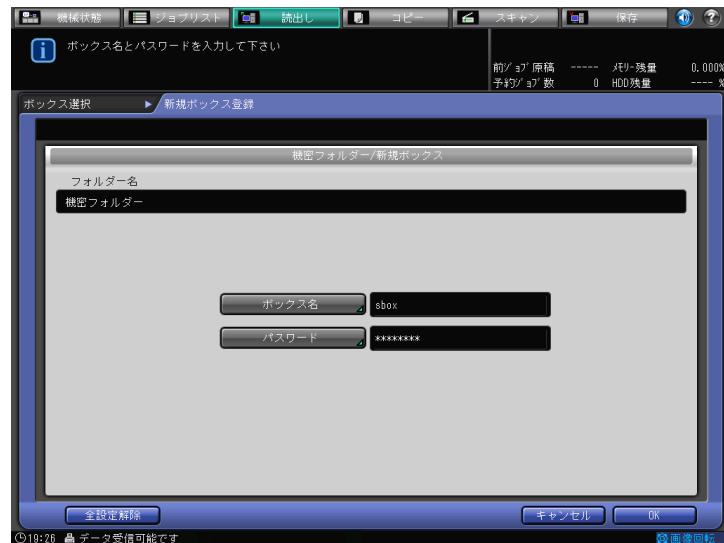


7 パスワードを入力してから、[OK] を押します。



- 機密ボックス名は半角 8 文字（全角 4 文字）の英数字で入力します。
- 入力したパスワードは、8 個の「*」で表示されます。
- パスワードを、必ず控えてください。

8 [OK] を押します。



→ 入力したパスワードは、8 個の「*」で表示されます。

9 機密フォルダーにボックスが作成されたことを確認します。



8.2 機密フォルダー内のジョブを出力する

機密フォルダー内のジョブを出力するには、操作パネルで [ユーザー ID] と [パスワード] を入力する必要があります。

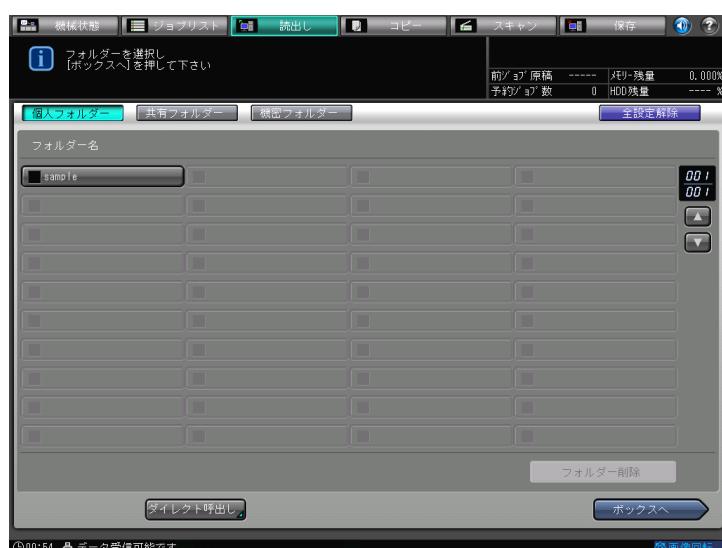


セキュリティープリントの設定および機密フォルダーの出力についての詳細は、「ユーザーズガイド（プリンター編）」をごらんください。

1 [読み出し] を押します。



2 [機密フォルダー] を押します。



3 ボックスを選択した後、[パスワード] を入力してから [OK] をクリックします。

- 4 ボックス内のファイルを選択してから、を押します。



- 5 [プルーフ (先頭 1 枚)]、[プルーフ]、[ウェイト]、[自動]、[保留] のいずれかを選択してから、[出力] を押します。



[ファイルチェック]	選択したファイルの設定内容を一覧で表示します。
[サムネイル]	選択したファイルのサムネイルを表示します。
[結合対象] - [ファイル]	ファイルが持つ設定および属性を保持したまま、選択したファイルを一度に出力できます。 最大で 10 個のファイルを一度に結合できます。
[結合対象] - [イメージ]	機密フォルダーでは使用できない機能です。 個人フォルダーおよび共有フォルダーで使用できる機能です。 ファイルが持つ設定および属性を保持せずに、選択したファイルを 1 つのファイルとして一度に出力できます。 最大で 10 個のファイルを一度に結合できます。 必要に応じて、[自動] 以外の出力方法を選択して、設定を追加してください。 [設定確認] 画面で、または、[ジョブリスト] 画面の [チケット編集] で追加できます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[ファイル削除]	選択したファイルを削除します。 確認メッセージの画面で、[はい] を押すとファイルが削除されます。
[全解除]	全ての出力設定を解除します。
[解除]	出力設定を解除します。

[プルーフ (先頭 1 枚)]	1 ページ目だけを出力してから停止して、設定を確認する画面を表示します。 出力結果を確認して問題がないときは、[スタート] ボタンを押してから出力を再開します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[プルーフ]	複数の部数を印刷するときに、1 部だけを出力してから停止して、設定を確認する画面を表示します。 出力結果に問題がないときは、[スタート] ボタンを押して出力を再開します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[ウェイト]	読み出し後に停止してから、設定を確認する画面を表示します。設定を変更できます。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[自動]	このボタンが押されていると、[スタート] ボタンを押さなくても出力が開始されます。
[保留]	このボタンが押されていると、ジョブが [ジョブリスト] 画面の [保留中] に移動します。 操作のながれについては、4-28 ページをごらんください。
[出力]	選択したファイルを出力します。

- 6 [自動] を選択したときは、出力する部数を確認する画面が表示されます。テンキーで出力する部数を入力してから、[OK] を押します。



→ [出力シート変更] を押して、すべてのページを出力するかページを指定して出力するかを切替えられます。

すべてのページを出力するには、[全シート] を選択します。

ページを指定して出力するには、[シート指定] を選択してからページを番号で指定します。

選択したファイルが出力されます。

- 7 続けて出力するかどうかを確認する画面が表示されます。操作を続けるときは [はい] を、終了するときは [いいえ] を押します。

→ [はい] を押したときは、手順 5 以降の操作を繰返します。

8.3 機密フォルダーのボックスを削除する

機密フォルダー内のボックスは、[読み出し] 画面で削除します。

- [読み出し] を押します。



- [機密フォルダー] を押します。



3 削除したいボックスを選択します。

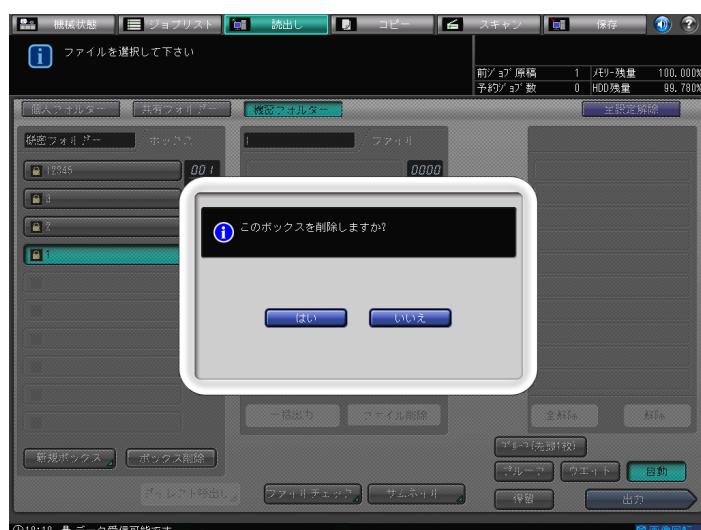


4 [パスワード] を入力してから、[OK] をクリックします。

5 [ボックス削除] を押します。



6 [はい] を押します。



機密フォルダー内のボックスが削除されます。

9

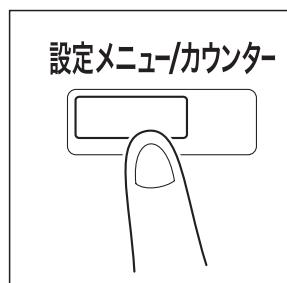
設定メニュー画面

9 設定メニュー画面

操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押すと、設定メニュー画面を表示できます。

9.1 設定メニュー画面を表示する

- 1 操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。



本書では、設定メニュー画面の以下の項目について説明しています。その他の設定については、それぞれのユーザーズガイドをごらんください。

- スキャン設定 (9-3 ページ)
- E-mail 設定 (9-6 ページ)

9.2 スキャン設定

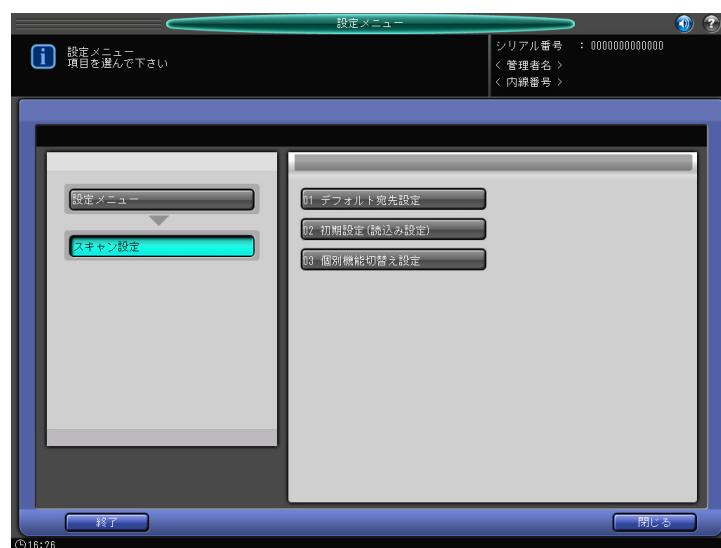
設定メニュー画面のスキャン設定画面で、宛先やファイル形式の初期値を設定できます。

スキャン設定画面を表示する

- 1 9-2 ページを参照して、設定メニュー画面を表示します。
- 2 [04 スキャン設定] を押します。



- 3 設定したい項目を押します。



デフォルト宛先設定



名称	説明
[E-mail]	宛先選択画面を開くと、初期設定で [E-mail] を表示します。
[HDD]	宛先選択画面を開くと、初期設定で [HDD] を表示します。
[FTP]	宛先選択画面を開くと、初期設定で [FTP] を表示します。
[SMB]	宛先選択画面を開くと、初期設定で [SMB] を表示します。

初期設定（読み込み設定）



スキャン設定基本画面の初期値を設定します。

- [ADF] を押すと ADF モードになり、スキャン設定の基本画面で [両面] を設定できます。
- [倍率] と [ファイル形式] は設定できません。

個別機能切替え設定



名称	説明
[ファイル形式デフォルト E-mail]	Scan to E-mail のファイル形式の初期値を設定します。
[ファイル形式デフォルト HDD]	Scan to HDD のファイル形式の初期値を設定します。
[ファイル形式デフォルト FTP]	Scan to FTP のファイル形式の初期値を設定します。
[ファイル形式デフォルト SMB]	Scan to SMB のファイル形式の初期値を設定します。

9.3 E-mail 設定

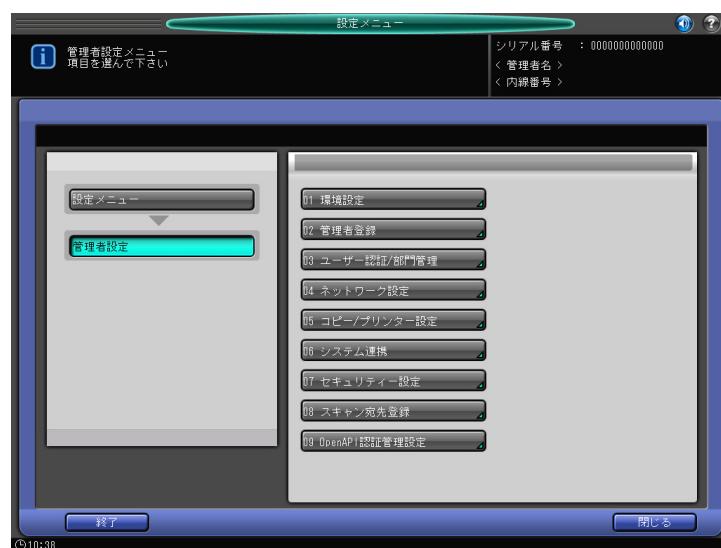
E-mail 設定画面では、E-mail の表題と本文を設定できます。

E-mail 件名登録 / E-mail 本文登録画面を表示する

- 1 9-2 ページを参照して、設定メニュー画面を表示します。
- 2 [06 管理者設定] を押します。



- 3 [04 ネットワーク設定] を押します。



4 [02 コントローラ NIC 設定] を押します。



5 [09 E-mail 設定] を押します。



- [次頁] を 3 回押すと、E-mail 件名登録画面を表示します。
- [次頁] を 4 回押すと、E-mail 本文登録画面を表示します。

E-mail 件名登録画面

E-mail の表題を、5つまで登録できます。



E-mail 本文登録画面

E-mail の本文を、5つまで登録できます。



10

トラブルシューティング

10 トラブルシューティング

10.1 スキャナーに接続できない

スキャナーへの接続時にエラーメッセージが表示された場合、以下の内容を確認してください。

- ✓ ネットワークの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 接続先の IP アドレスが正しいかを確認します。

- IP アドレスが間違っていた場合は、正しい IP アドレスを入力してください。
- 正しい場合は、手順 2 に進んでください。

- 2 ご使用のコンピューターの DOS プロンプトから、接続先の IP アドレスへの「ping」を実行してから、接続を確認します。

- 例：C: ¥>ping 192.168.0.1
- コピー機の IP アドレスは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続を確認できないときは、コピー機の主電源とネットワークケーブルの接続を確認してください。
- 接続を確認できた場合は、手順 3 に進んでください。

- 3 IP ルーターの設定が正しいかを確認してください。

- 設定が間違っていた場合は正しい設定を行ってください。
- 設定が正しい場合は、手順 4 に進んでください。

- 4 接続ルートのトレースを行い、ネットワーク内で問題が発生しているかを確認します。

- 問題が発生している場合は、その問題を解消してください。
- 問題が発生していないのに接続できない状態が続くときは、サービス実施店にご連絡ください。
- セキュリティー強化モードがONにされている場合は、TWAIN 対応アプリケーションおよびHDD TWAIN ドライバーを使用してジョブを取得できません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

10.2 エラーが表示されたら

スキャン中に〔エラー〕と表示されたときの原因と対処方法を説明します。

保存先のボックスが登録されていない

登録されていないボックス番号宛に、スキャンデータを保存しようとしていることが考えられます。

対処

- 〔保存〕画面の〔スキャン to HDD〕でボックスを作成したフォルダーを選択した後、〔新規ボックス〕でボックスを登録してから、ボックスに保存してください。詳しくは、6-6 ページをごらんください。

コントローラー HDD の残量不足

イメージコントローラーのハードディスク残量が不足していることが考えられます。以下の手順で、イメージコントローラーのハードディスクの残量を確認します。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 URL フィールドにイメージコントローラーの IP アドレスを入力してから、[Enter] キーを押します。
PageScope Web Connection 画面が表示されます。
→ PageScope Web Connection について詳しくは、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」をごらんください。
- 3 [装置情報] - [オプション] を選択します。
- 4 [プリンター用 HDD] の [残りサイズ] を確認します。

オプション	768Mbyte
コピー用メモリー	
サイズ	
プリンター用メモリー	
サイズ	2048Mbyte
コピー用HDD	
トータルサイズ	102996Mbyte
使用サイズ	0Mbyte
残りサイズ	102996Mbyte
プリンター用HDD	
トータルサイズ	250059Mbyte
使用サイズ	1369Mbyte
残りサイズ	248690Mbyte
ローカルインターフェース	装着
ネットワーク	Ethernet10 / 100 / 1000 Base T
ドキュメントフィーダー	装着
両面印刷ユニット	装着

対処

- イメージコントローラーのハードディスクの残量を増やすには、保存されているスキャンデータを、HDD TWAIN ドライバーを使用して削除します。詳しくは、HDD TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。
- また、イメージコントローラーのハードディスクに保存されたスキャンデータを、一定の時間が経過した後に、自動的に削除することもできます。保存してから削除するまでの時間は、〔機械状態〕画面の〔コントローラー設定〕 - [スキャン設定] - [ボックス内ドキュメント削除時間] で設定できます。詳しくは、7-43 ページをごらんください。

11

付録

11 付録

11.1 スキャナー用語集

用語	説明
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	Ethernet の規格で、仕様の一種。 銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、 1000Base-T は 1000Mbps である。
anonymous FTP	通常は、アカウントとパスワードによって保護される FTP サイトを、 アカウント名に anonymous (匿名) と入力することでパスワードが 不要になり、誰でも利用できるようになる FTP サイトのこと。
DNS	Domain Name System の略。
DPI (dpi)	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度 の単位。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロト コルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント (Web ブラウザーなど) がデータを送受信するのに使われるプロトコル。 文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、 表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IP アドレス	インターネットで個々のネットワーク機器を識別する符号 (アドレ ス)。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コン ピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、すべて IP アドレスが割り振られる。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットや イントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用 するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できる データベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
MH	Modified Huffman の略。ファクシミリ用データ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合は、10 分の 1 程度に圧縮される。
MMR	Modified Modified Read の略。ファクシミリ用データ圧縮符号方式 の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合は、20 分の 1 程度に圧縮され る。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。
OS (オーエス)	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本 ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ (拡張子は .pdf)。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
ping	Packet Internet Groper の略。TCP/IP ネットワーク環境で、相手 の機器との通信状況を確認するのに利用するコマンドのこと。
POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行 うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、特に高品質が要求される印刷処理 で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを 通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信 / 転送する ためのプロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。

用語	説明
TIFF	Tagged Image File Format の略。
TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェイスに関する規格のこと。
XPS	XML Paper Specification の略。
アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除する事。
イーサネット (Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバーなどを、コンピューターのシステムに組み込むこと。
ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
クライアント	ネットワークを介してサーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークにあわせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
サムネイル	画像ファイルや文書ファイルの内容（ファイルを開いたときのイメージ）を小さく表示する機能のこと。
シングルページ TIFF	1 つのファイルが、1 ページだけの TIFF ファイルのこと。
走査 (scan)	スキャナーの読み取り動作で、1 列に並んだイメージセンサーを少しづつ移動させながら画像を読み取っていくこと。
第 1 水準漢字	コンピューターや通信などでは文字を識別するために、それぞれの文字にコードが割り振られている。JIS が定めた「JIS 漢字コード」のうち、使用頻度の高いものを集めた文字セットを「第 1 水準」という。漢字 2965 字、かな 169 字、英数字 62 字、特殊記号 293 字の合計 3489 字で構成される。
第 2 水準漢字	JIS が定めた「JIS 漢字コード」のうち、第一水準より使用頻度の低いものを集めた文字セットを「第 2 水準」という。地名、人名、旧字体など 3390 文字で構成される。
デフォルト	初期設定値のこと。
ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
濃度	画像の濃さを表す量のこと。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。
ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
ポート番号	ネットワーク上のコンピューター内で動いている複数の処理の各通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用できない。
マルチページ TIFF	1 つのファイルに、複数ページが含まれている TIFF ファイルのこと。
メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。
ルーター	異なるネットワーク同士を相互に接続して、送信データを中継する装置のこと。

11.2 索引

D

dpi 7-41

E

E-mail アドレスの登録 6-4

E-mail 設定 9-6

E-mail 5-3, 7-4

F

FTP 5-5, 6-8, 7-14

H

HDD 7-9

L

LDAP 検索 3-14

P

PageScope Web Connection 4-40

あ行

宛先選択画面 7-2

宛先登録 6-2

宛先入力 7-3

宛先入力画面 6-2

エラー 10-3

か行

解像度 7-41

画質設定 7-37

グループ 5-8, 7-31

検索 3-10

検索文字 6-9

原稿設定 7-36

コントローラー設定 7-42

さ行

常用 7-2

ジョブの確認 7-44

スキャナーの概要 2-2

スキャナー用語集 11-2

スキャン設定基本画面 7-35

スキャンファイルフォーマット圧縮方式 2-6

製品仕様 2-6

設定メニュー 9-2

接続形態 2-2

操作パネル 3-2

た行

タッチパネル 3-4

トラブルシューティング 10-2

な行

ネットワークスキャナー機能 5-2

は行

ハードディスク 5-4

倍率設定 7-38

ファイル形式 7-40

ページの見かた 1-4

ボックス 6-6

ま行

文字入力画面 3-6

や行

用紙の大きさ 1-5

用紙の表示 1-5

読み込みサイズ 7-41

ら行

連続読み込み 7-35

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/> <hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。

<http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039(受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

2012 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.